

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	日本円・コース (毎月分配型) 豪ドル・コース (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 米ドル・コース (毎月分配型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 約10年間(2011年9月22日~2021年9月7日)
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクト・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
運用方法	日本円・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替ヘッジを行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/日本円買いの為替ヘッジを行ないます。
	豪ドル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を行ないます。
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。
組入制限	米ドル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	通貨セレクト・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を行ないます。
分配方針	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。分配対象額は、繰上控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標とし、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行なわないことがあります。通貨セレクト・コースは、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)

－トリプル・リターンズ－

日本円・コース (毎月分配型)

豪ドル・コース (毎月分配型)

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

米ドル・コース (毎月分配型)

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

日本円・コース (毎月分配型)

豪ドル・コース (毎月分配型)

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

米ドル・コース (毎月分配型)

第54期 (決算日 2016年4月7日)
第55期 (決算日 2016年5月9日)
第56期 (決算日 2016年6月7日)
第57期 (決算日 2016年7月7日)
第58期 (決算日 2016年8月8日)
第59期 (決算日 2016年9月7日)
第34期 (決算日 2016年4月7日)
第35期 (決算日 2016年5月9日)
第36期 (決算日 2016年6月7日)
第37期 (決算日 2016年7月7日)
第38期 (決算日 2016年8月8日)
第39期 (決算日 2016年9月7日)

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) －トリプル・リターンズ－」は、さる9月7日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

http://www.daiwa-am.co.jp/

<3834>

<3835>

<3836>

<3837>

<5763>

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

★日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
30期末(2014年4月7日)	10,719	90	2.3	15,985	△ 0.6	0.0	98.9	3,325
31期末(2014年5月7日)	10,720	90	0.8	16,008	0.1	0.0	98.8	3,251
32期末(2014年6月9日)	10,930	90	2.8	16,708	4.4	0.0	98.8	3,230
33期末(2014年7月7日)	10,947	90	1.0	17,017	1.8	0.0	98.9	3,127
34期末(2014年8月7日)	10,551	90	△ 2.8	16,458	△ 3.3	0.0	98.7	3,034
35期末(2014年9月8日)	10,893	90	4.1	17,208	4.6	0.0	99.5	3,046
36期末(2014年10月7日)	10,381	90	△ 3.9	16,840	△ 2.1	0.0	98.9	2,891
37期末(2014年11月7日)	10,378	90	0.8	17,409	3.4	0.0	98.0	2,906
38期末(2014年12月8日)	10,307	90	0.2	17,787	2.2	0.0	98.0	2,578
39期末(2015年1月7日)	9,825	90	△ 3.8	17,164	△ 3.5	0.0	99.0	2,553
40期末(2015年2月9日)	9,936	90	2.0	17,617	2.6	0.0	99.3	2,477
41期末(2015年3月9日)	9,788	90	△ 0.6	17,752	0.8	0.0	98.8	2,408
42期末(2015年4月7日)	9,582	90	△ 1.2	17,832	0.5	0.0	98.7	2,399
43期末(2015年5月7日)	9,870	90	3.9	17,828	△ 0.0	0.0	99.1	2,421
44期末(2015年6月8日)	9,645	90	△ 1.4	17,937	0.6	0.0	98.9	2,204
45期末(2015年7月7日)	9,175	90	△ 3.9	17,731	△ 1.2	0.0	98.9	2,060
46期末(2015年8月7日)	8,870	90	△ 2.3	17,858	0.7	0.0	99.4	2,002
47期末(2015年9月7日)	8,140	90	△ 7.2	16,466	△ 7.8	0.0	96.7	1,852
48期末(2015年10月7日)	8,306	90	3.1	16,969	3.1	0.0	98.8	1,925
49期末(2015年11月9日)	8,525	90	3.7	17,992	6.0	0.0	98.8	1,948
50期末(2015年12月7日)	8,429	90	△ 0.1	17,927	△ 0.4	0.0	98.9	1,976
51期末(2016年1月7日)	7,941	90	△ 4.7	17,058	△ 4.8	0.0	98.7	1,937
52期末(2016年2月8日)	7,472	90	△ 4.8	16,113	△ 5.5	0.0	99.2	1,745
53期末(2016年3月7日)	7,844	90	6.2	17,141	6.4	0.0	99.0	1,849
54期末(2016年4月7日)	7,982	90	2.9	17,713	3.3	—	98.9	1,834
55期末(2016年5月9日)	7,729	90	△ 2.0	17,631	△ 0.5	0.0	98.3	1,750
56期末(2016年6月7日)	7,925	90	3.7	18,079	2.5	0.0	98.4	1,721
57期末(2016年7月7日)	7,672	90	△ 2.1	17,996	△ 0.5	0.0	99.4	1,609
58期末(2016年8月8日)	8,004	90	5.5	18,709	4.0	0.0	98.9	1,609
59期末(2016年9月7日)	7,900	90	△ 0.2	18,740	0.2	0.0	99.2	1,502

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

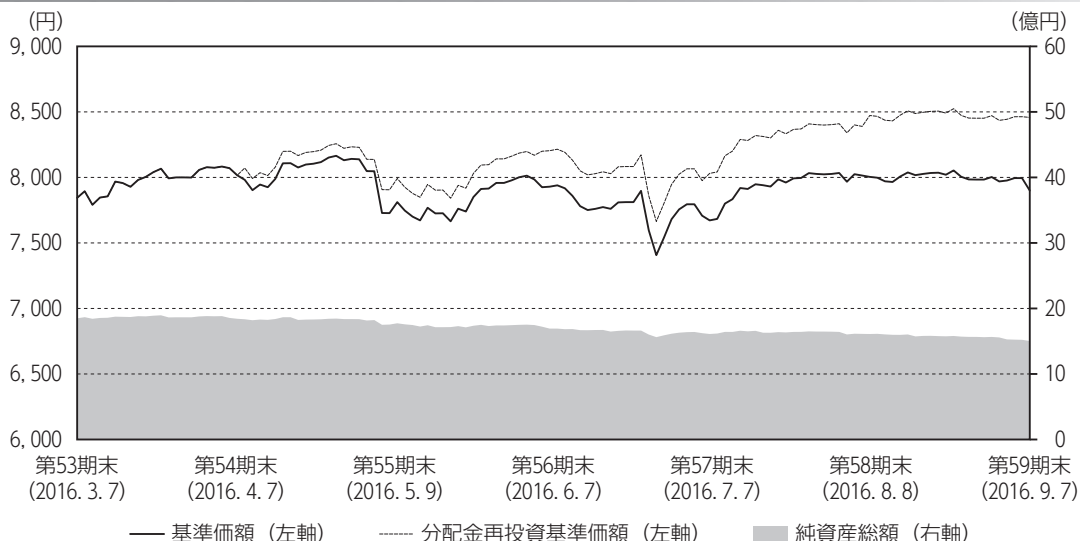
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

### ■基準価額・騰落率

第54期首：7,844円

第59期末：7,900円（既払分配金540円）

騰落率：7.8%（分配金再投資ベース）

### ■基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことが寄与し、値上がりしました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第54期	(期首) 2016年 3月 7日	円 7,844	% —	17,141	% —	% 0.0	% 99.0
	3月末	8,078	3.0	17,690	3.2	—	98.5
	(期末) 2016年 4月 7日	8,072	2.9	17,713	3.3	—	98.9
第55期	(期首) 2016年 4月 7日	7,982	—	17,713	—	—	98.9
	4月末	8,138	2.0	17,957	1.4	0.0	97.5
	(期末) 2016年 5月 9日	7,819	△ 2.0	17,631	△ 0.5	0.0	98.3
第56期	(期首) 2016年 5月 9日	7,729	—	17,631	—	0.0	98.3
	5月末	7,958	3.0	17,991	2.0	0.0	99.0
	(期末) 2016年 6月 7日	8,015	3.7	18,079	2.5	0.0	98.4
第57期	(期首) 2016年 6月 7日	7,925	—	18,079	—	0.0	98.4
	6月末	7,681	△ 3.1	17,748	△ 1.8	0.0	99.3
	(期末) 2016年 7月 7日	7,762	△ 2.1	17,996	△ 0.5	0.0	99.4
第58期	(期首) 2016年 7月 7日	7,672	—	17,996	—	0.0	99.4
	7月末	8,024	4.6	18,599	3.3	0.0	98.8
	(期末) 2016年 8月 8日	8,094	5.5	18,709	4.0	0.0	98.9
第59期	(期首) 2016年 8月 8日	8,004	—	18,709	—	0.0	98.9
	8月末	8,003	△ 0.0	18,651	△ 0.3	0.0	99.2
	(期末) 2016年 9月 7日	7,990	△ 0.2	18,740	0.2	0.0	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。

米国株式市況は、第54期首より、ECB（欧州中央銀行）が追加金融緩和策を発表したことや、FOMC（米国連邦公開市場委員会）における声明が予想以上に緩和的だったことなどを受けて、上昇して始まりました。2016年5月下旬から6月上旬にかけては、原油価格の上昇や好調な米国経済指標などを好感してさらに上昇しました。6月下旬には、英国の国民投票においてEU（欧州連合）離脱派が勝利したことから大幅に下落しましたが、その後は、各国の中央銀行が対策を講じるとの見方が広がったことなどを受けて反発し、7月中旬にかけて上昇しました。8月から第59期末にかけては方向感のない推移となりました。

### ○短期金利市況

日本では、日銀が量的・質的金融緩和を継続する中、短期金利は低位で推移しました。一方、FRB（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを0.25～0.50%で据え置きました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（GICS）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

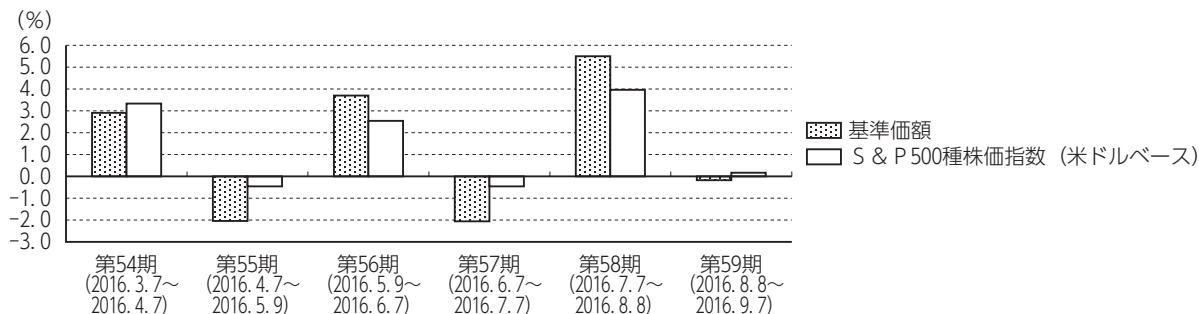
### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

第54期から第59期の1万口当り分配金(税込み)はそれぞれ90円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## 分配原資の内訳(1万口当り)

項目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2016年3月8日 ~2016年4月7日	2016年4月8日 ~2016年5月9日	2016年5月10日 ~2016年6月7日	2016年6月8日 ~2016年7月7日	2016年7月8日 ~2016年8月8日	2016年8月9日 ~2016年9月7日
当期分配金(税込み)(円)	90	90	90	90	90	90
対基準価額比率(%)	1.11	1.15	1.12	1.16	1.11	1.13
当期の収益(円)	56	52	59	52	59	51
当期の収益以外(円)	33	37	30	37	30	38
翌期繰越分配対象額(円)	1,240	1,202	1,172	1,135	1,105	1,066

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	56.85円	52.26円	59.74円	52.36円	59.38円	51.24円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,273.13	1,240.47	1,202.91	1,173.07	1,135.68	1,105.14
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,329.99	1,292.73	1,262.66	1,225.43	1,195.07	1,156.39
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,239.99	1,202.73	1,172.66	1,135.43	1,105.07	1,066.39

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。



1 万口当りの費用の明細

項 目	第54期～第59期		項 目 の 概 要
	(2016. 3. 8～2016. 9. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	53円	0.666%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は7,931円です。</b>
（投信会社）	(17)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(35)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	53	0.669	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2016年3月8日から2016年9月7日まで)

決算期	第54期～第59期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 1,141,422	千円 99,047	千口 5,703.2	千円 500,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2016年3月8日から2016年9月7日まで)

銘柄	第54期			第59期		
	買付			売付		
	□数	金額	平均単価	□数	金額	平均単価
CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 232.269	千円 20,000	円 86	千口 5,703.2	千円 500,000	円 87

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間(第54期～第59期)中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間(第54期～第59期)中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年3月8日から2016年9月7日まで)

区分	第54期～第59期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 196,575	百万円 21,600	% 11.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	4,294,200	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフান  
ドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 59 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	16,816.157	1,490,735	99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年9月7日現在

項 目	第 59 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,490,735	97.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	135	0.0
コール・ローン等、その他	42,123	2.8
投資信託財産総額	1,532,994	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第53期末	第 59 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	132	132	135

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年4月7日)、(2016年5月9日)、(2016年6月7日)、(2016年7月7日)、(2016年8月8日)、(2016年9月7日) 現在

項 目	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,894,465,189円</b>	<b>1,781,177,548円</b>	<b>1,779,548,982円</b>	<b>1,635,835,923円</b>	<b>1,630,680,293円</b>	<b>1,532,994,671円</b>
コール・ローン等	79,937,889	61,249,461	45,350,090	35,477,964	38,165,072	42,123,769
投資信託受益証券 (評価額)	1,814,391,915	1,719,792,702	1,694,063,521	1,600,222,587	1,592,379,862	1,490,735,543
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	135,385	135,385	135,372	135,372	135,359	135,359
未収入金	—	—	39,999,999	—	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>59,850,049</b>	<b>30,963,564</b>	<b>58,099,273</b>	<b>25,862,226</b>	<b>20,885,553</b>	<b>30,202,696</b>
未払金	—	—	20,000,000	—	—	—
未払収益分配金	20,684,779	20,380,270	19,550,384	18,885,788	18,100,188	17,120,396
未払解約金	37,051,878	8,429,907	16,684,500	5,129,285	828,427	11,301,603
未払信託報酬	2,100,551	2,127,476	1,827,305	1,799,127	1,897,313	1,710,615
その他未払費用	12,841	25,911	37,084	48,026	59,625	70,082
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>1,834,615,140</b>	<b>1,750,213,984</b>	<b>1,721,449,709</b>	<b>1,609,973,697</b>	<b>1,609,794,740</b>	<b>1,502,791,975</b>
元本	2,298,308,851	2,264,474,493	2,172,264,948	2,098,420,994	2,011,132,104	1,902,266,332
次期繰越損益金	△ 463,693,711	△ 514,260,509	△ 450,815,239	△ 488,447,297	△ 401,337,364	△ 399,474,357
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,298,308,851口</b>	<b>2,264,474,493口</b>	<b>2,172,264,948口</b>	<b>2,098,420,994口</b>	<b>2,011,132,104口</b>	<b>1,902,266,332口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	7,982円	7,729円	7,925円	7,672円	8,004円	7,900円

\*第53期末における元本額は2,357,831,631円、当作成期間(第54期~第59期)中における追加設定元本額は230,595,055円、同解約元本額は686,160,354円です。

\*第59期末の計算口数当りの純資産額は7,900円です。

\*第59期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は399,474,357円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第54期 自 2016年 3月 8日 至 2016年 4月 7日 第56期 自 2016年 5月 10日 至 2016年 6月 7日 第58期 自 2016年 7月 8日 至 2016年 8月 8日  
 第55期 自 2016年 4月 8日 至 2016年 5月 9日 第57期 自 2016年 6月 8日 至 2016年 7月 7日 第59期 自 2016年 8月 9日 至 2016年 9月 7日

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(A) 配当等収益	13,600,120円	13,974,967円	13,363,952円	12,797,845円	12,213,072円	11,469,518円
受取配当金	13,600,120	13,975,780	13,365,140	12,799,400	12,214,072	11,470,409
受取利息	—	—	10	23	6	6
支払利息	—	△ 813	△ 1,198	△ 1,578	△ 1,006	△ 897
(B) 有価証券売買損益	40,410,412	△ 48,979,694	50,372,070	△ 43,900,117	74,309,404	△ 12,495,476
売買益	41,449,992	861,539	50,731,455	2,270,478	76,673,398	649,827
売買損	△ 1,039,580	△ 49,841,233	△ 359,385	△ 46,170,595	△ 2,363,994	△ 13,145,303
(C) 信託報酬等	△ 2,113,392	△ 2,140,546	△ 1,838,478	△ 1,810,127	△ 1,908,912	△ 1,721,074
(D) 当期損益金 (A + B + C)	51,897,140	△ 37,145,273	61,897,544	△ 32,912,399	84,613,564	△ 2,747,032
(E) 前期繰越損益金	△ 393,749,797	△ 345,942,367	△ 373,273,280	△ 298,278,794	△ 325,410,805	△ 237,195,479
(F) 追加信託差損益金	△ 101,156,275	△ 110,792,599	△ 119,889,119	△ 138,370,316	△ 142,439,935	△ 142,411,450
(配当等相当額)	( 292,606,653)	( 280,902,451)	( 261,305,312)	( 246,160,560)	( 228,400,998)	( 210,227,782)
(売買損益相当額)	(△ 393,762,928)	(△ 391,695,050)	(△ 381,194,431)	(△ 384,530,876)	(△ 370,840,933)	(△ 352,639,232)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 443,008,932	△ 493,880,239	△ 431,264,855	△ 469,561,509	△ 383,237,176	△ 382,353,961
(H) 収益分配金	△ 20,684,779	△ 20,380,270	△ 19,550,384	△ 18,885,788	△ 18,100,188	△ 17,120,396
次期繰越損益金 (G + H)	△ 463,693,711	△ 514,260,509	△ 450,815,239	△ 488,447,297	△ 401,337,364	△ 399,474,357
追加信託差損益金	△ 108,773,086	△ 119,338,449	△ 126,461,082	△ 146,268,386	△ 148,596,592	△ 149,783,406
(配当等相当額)	( 284,989,842)	( 272,356,601)	( 254,733,349)	( 238,262,490)	( 222,244,341)	( 202,855,826)
(売買損益相当額)	(△ 393,762,928)	(△ 391,695,050)	(△ 381,194,431)	(△ 384,530,876)	(△ 370,840,933)	(△ 352,639,232)
繰越損益金	△ 354,920,625	△ 394,922,060	△ 324,354,157	△ 342,178,911	△ 252,740,772	△ 249,690,951

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	13,067,968円	11,834,420円	12,978,421円	10,987,718円	11,943,531円	9,748,440円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	292,606,653	280,902,451	261,305,312	246,160,560	228,400,998	210,227,782
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	305,674,621	292,736,871	274,283,733	257,148,278	240,344,529	219,976,222
(f) 分配金	20,684,779	20,380,270	19,550,384	18,885,788	18,100,188	17,120,396
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	284,989,842	272,356,601	254,733,349	238,262,490	222,244,341	202,855,826
(h) 受益権総口数	2,298,308,851口	2,264,474,493口	2,172,264,948口	2,098,420,994口	2,011,132,104口	1,902,266,332口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	90円	90円	90円	90円	90円	90円
(単 価)	(7,982円)	(7,729円)	(7,925円)	(7,672円)	(8,004円)	(7,900円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。) を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

★豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
30期末(2014年4月7日)	12,300	200	5.4	15,985	△ 0.6	95.82	2.4	0.0	99.0	15,319
31期末(2014年5月7日)	12,029	200	△ 0.6	16,008	0.1	94.98	△ 0.9	0.0	98.4	14,786
32期末(2014年6月9日)	12,309	200	4.0	16,708	4.4	95.77	0.8	0.0	98.7	15,860
33期末(2014年7月7日)	12,241	200	1.1	17,017	1.8	95.56	△ 0.2	0.0	99.1	15,952
34期末(2014年8月7日)	11,701	200	△ 2.8	16,458	△ 3.3	95.50	△ 0.1	0.0	98.8	15,461
35期末(2014年9月8日)	12,354	200	7.3	17,208	4.6	98.39	3.0	0.0	98.2	16,877
36期末(2014年10月7日)	11,375	200	△ 6.3	16,840	△ 2.1	95.44	△ 3.0	0.0	98.6	15,542
37期末(2014年11月7日)	11,689	200	4.5	17,409	3.4	98.59	3.3	0.0	98.0	16,212
38期末(2014年12月8日)	11,859	200	3.2	17,787	2.2	101.00	2.4	0.0	98.6	16,626
39期末(2015年1月7日)	10,676	200	△ 8.3	17,164	△ 3.5	95.81	△ 5.1	0.0	98.6	15,002
40期末(2015年2月9日)	10,349	200	△ 1.2	17,617	2.6	92.16	△ 3.8	0.0	98.8	14,858
41期末(2015年3月9日)	10,196	200	0.5	17,752	0.8	93.07	1.0	0.0	99.1	14,587
42期末(2015年4月7日)	9,579	200	△ 4.1	17,832	0.5	90.58	△ 2.7	0.0	98.0	14,353
43期末(2015年5月7日)	10,136	200	7.9	17,828	△ 0.0	94.95	4.8	0.0	98.4	15,611
44期末(2015年6月8日)	10,018	200	0.8	17,937	0.6	95.62	0.7	0.0	98.5	15,384
45期末(2015年7月7日)	9,087	200	△ 7.3	17,731	△ 1.2	91.88	△ 3.9	0.0	99.0	13,474
46期末(2015年8月7日)	8,612	200	△ 3.0	17,858	0.7	91.62	△ 0.3	0.0	98.9	12,753
47期末(2015年9月7日)	7,000	200	△ 16.4	16,466	△ 7.8	82.55	△ 9.9	0.0	98.8	9,910
48期末(2015年10月7日)	7,339	150	7.0	16,969	3.1	86.02	4.2	0.0	99.1	10,502
49期末(2015年11月9日)	7,550	150	4.9	17,992	6.0	86.79	0.9	0.0	98.8	10,554
50期末(2015年12月7日)	7,732	150	4.4	17,927	△ 0.4	90.27	4.0	0.0	99.0	10,557
51期末(2016年1月7日)	6,691	150	△ 11.5	17,058	△ 4.8	83.94	△ 7.0	0.0	98.3	9,190
52期末(2016年2月8日)	6,138	150	△ 6.0	16,113	△ 5.5	83.04	△ 1.1	0.0	99.0	8,304
53期末(2016年3月7日)	6,497	150	8.3	17,141	6.4	84.26	1.5	0.0	99.2	8,632
54期末(2016年4月7日)	6,443	150	1.5	17,713	3.3	83.52	△ 0.9	—	99.0	8,388
55期末(2016年5月9日)	5,811	150	△ 7.5	17,631	△ 0.5	79.14	△ 5.2	0.0	98.9	7,504
56期末(2016年6月7日)	5,985	100	4.7	18,079	2.5	79.16	0.0	0.0	98.6	7,468
57期末(2016年7月7日)	5,500	100	△ 6.4	17,996	△ 0.5	75.95	△ 4.1	0.0	98.8	6,515
58期末(2016年8月8日)	5,845	100	8.1	18,709	4.0	77.64	2.2	0.0	99.3	6,559
59期末(2016年9月7日)	5,817	100	1.2	18,740	0.2	77.78	0.2	0.0	99.1	6,046

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

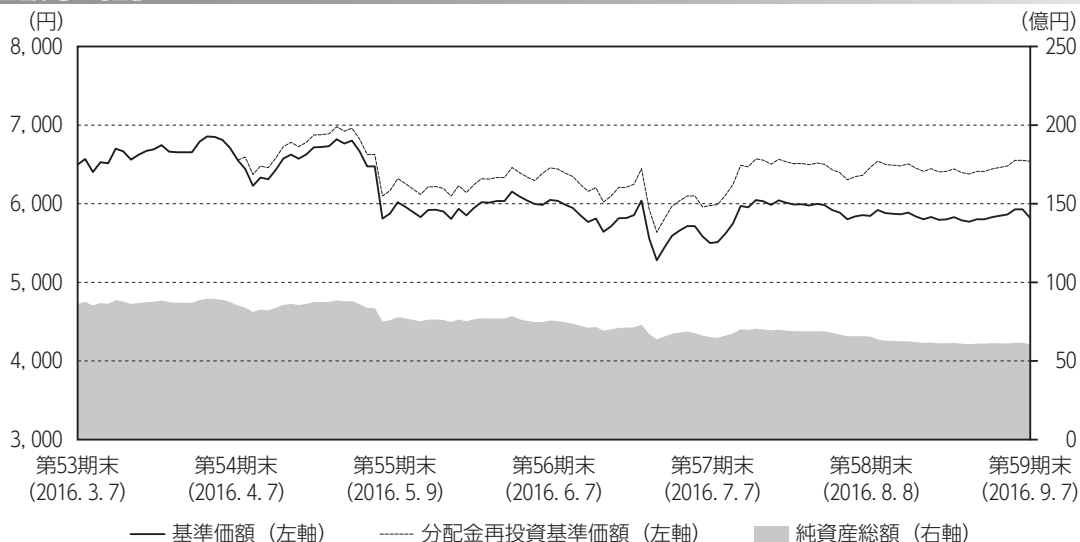
(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

### ■ 基準価額・騰落率

第54期首：6,497円

第59期末：5,817円（既払分配金700円）

騰落率：0.7%（分配金再投資ベース）

### ■ 基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用した結果、豪ドルが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、株価が上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が寄与し、値上がりしました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第54期	(期首) 2016年 3月 7日	6,497	—	17,141	—	84.26	—	0.0	99.2
	3月末	6,856	5.5	17,690	3.2	86.25	2.4	—	99.0
	(期末) 2016年 4月 7日	6,593	1.5	17,713	3.3	83.52	△ 0.9	—	99.0
第55期	(期首) 2016年 4月 7日	6,443	—	17,713	—	83.52	—	—	99.0
	4月末	6,665	3.4	17,957	1.4	83.40	△ 0.1	0.0	96.6
	(期末) 2016年 5月 9日	5,961	△ 7.5	17,631	△ 0.5	79.14	△ 5.2	0.0	98.9
第56期	(期首) 2016年 5月 9日	5,811	—	17,631	—	79.14	—	0.0	98.9
	5月末	6,034	3.8	17,991	2.0	79.82	0.9	0.0	99.1
	(期末) 2016年 6月 7日	6,085	4.7	18,079	2.5	79.16	0.0	0.0	98.6
第57期	(期首) 2016年 6月 7日	5,985	—	18,079	—	79.16	—	0.0	98.6
	6月末	5,593	△ 6.5	17,748	△ 1.8	76.74	△ 3.1	0.0	99.0
	(期末) 2016年 7月 7日	5,600	△ 6.4	17,996	△ 0.5	75.95	△ 4.1	0.0	98.8
第58期	(期首) 2016年 7月 7日	5,500	—	17,996	—	75.95	—	0.0	98.8
	7月末	5,984	8.8	18,599	3.3	78.56	3.4	0.0	99.1
	(期末) 2016年 8月 8日	5,945	8.1	18,709	4.0	77.64	2.2	0.0	99.3
第59期	(期首) 2016年 8月 8日	5,845	—	18,709	—	77.64	—	0.0	99.3
	8月末	5,829	△ 0.3	18,651	△ 0.3	77.51	△ 0.2	0.0	98.9
	(期末) 2016年 9月 7日	5,917	1.2	18,740	0.2	77.78	0.2	0.0	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

### ○米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。

米国株式市況は、第54期首よりE C B（欧州中央銀行）が追加金融緩和策を発表したことや、F O M C（米国連邦公開市場委員会）における声明が予想以上に緩和的だったことなどを受けて、上昇して始まりました。2016年5月下旬から6月上旬にかけては、原油価格の上昇や好調な米国経済指標などを好感してさらに上昇しました。6月下旬には、英国の国民投票においてE U（欧州連合）離脱派が勝利したことから大幅に下落しましたが、その後は、各国の中央銀行が対策を講じるとの見方が広がったことなどを受けて反発し、7月中旬にかけて上昇しました。8月から第59期末にかけては方向感のない推移となりました。

### ○為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

第54期首から2016年4月中旬にかけては、豪ドルの対円レートは一進一退の推移となりました。4月下旬から5月上旬にかけては、日銀が金融政策決定会合で追加緩和を見送ったほか、R B A（オーストラリア準備銀行）が政策金利を引き下げたことにより下落しました。6月下旬には、英国におけるE U離脱の是非を問う国民投票において、E U離脱派が勝利したことから大きく下落しました。その後、参議院議員選挙での与党勝利を受けていったんは反発しましたが、7月下旬から8月中旬にかけては、R B Aが再び政策金利の引き下げを発表したことから下落しました。

### ○短期金利市況

R B Aは政策金利を2.00%から1.50%に引き下げました。一方、F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを0.25～0.50%で据え置きました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準 (G I C S) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないます。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないました。

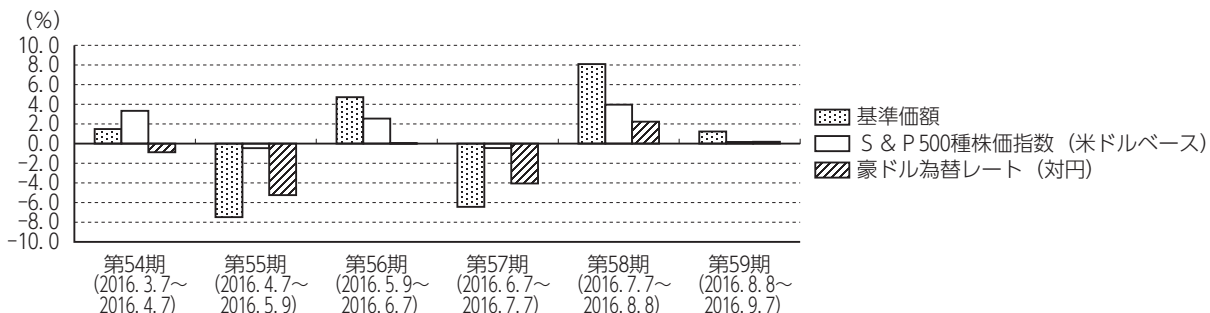
### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

1万口当り分配金 (税込み) は、第54期～第55期はそれぞれ150円、第56期～第59期はそれぞれ100円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程 (1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ■分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2016年3月8日 ～2016年4月7日	2016年4月8日 ～2016年5月9日	2016年5月10日 ～2016年6月7日	2016年6月8日 ～2016年7月7日	2016年7月8日 ～2016年8月8日	2016年8月9日 ～2016年9月7日
当期分配金 (税込み) (円)	150	150	100	100	100	100
対基準価額比率 (%)	2.28	2.52	1.64	1.79	1.68	1.69
当期の収益 (円)	52	54	61	48	51	52
当期の収益以外 (円)	98	95	38	51	48	47
翌期繰越分配対象額 (円)	1,708	1,613	1,575	1,523	1,475	1,427

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程 (1万口当たり)

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	51.99円	54.22円	61.63円	48.19円	51.73円	52.02円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,806.95	1,709.04	1,613.40	1,575.27	1,523.53	1,475.37
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,858.94	1,763.27	1,675.03	1,623.46	1,575.26	1,527.39
(f) 分配金	150.00	150.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,708.94	1,613.27	1,575.03	1,523.46	1,475.26	1,427.39

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICSの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないます。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第54期～第59期		項 目 の 概 要
	(2016. 3. 8～2016. 9. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	41円	0.666%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は6,108円です。</b>
（投信会社）	(13)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(27)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0.669	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－ 豪ドル・コース（毎月分配型）

### ■売買および取引の状況

#### 投資信託受益証券

（2016年3月8日から2016年9月7日まで）

決算期	第54期～第59期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 （邦貨建）	千口 4,714,564	千円 423,696	千口 29,090.801	千円 2,600,000

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 投資信託受益証券

（2016年3月8日から2016年9月7日まで）

銘柄	第54期～第59期			銘柄	第59期		
	買付				売付		
	□数	金額	平均単価		□数	金額	平均単価
	千口	千円	円	CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS（ケイマン諸島）	千口 29,090.801	千円 2,600,000	円 89

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

#### (1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第54期～第59期）中における利害関係人との取引はありません。

#### (3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第54期～第59期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

#### (2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2016年3月8日から2016年9月7日まで）

区分	第54期～第59期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 196,575	百万円 21,600	% 11.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	4,294,200	—	—	—	—	—

（注）平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフান  
ドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) – トリプル・リターンズ – 豪ドル・コース (毎月分配型)

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 59 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	67,258.688	5,995,439	99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年9月7日現在

項 目	第 59 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	5,995,439	97.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	655	0.0
コール・ローン等、その他	178,888	2.9
投資信託財産総額	6,174,983	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第53期末	第 59 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	643	643	655

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年4月7日)、(2016年5月9日)、(2016年6月7日)、(2016年7月7日)、(2016年8月8日)、(2016年9月7日) 現在

項 目	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末
<b>(A) 資産</b>	<b>8,620,531,718円</b>	<b>7,717,483,173円</b>	<b>7,654,809,551円</b>	<b>6,744,643,526円</b>	<b>6,740,242,798円</b>	<b>6,174,983,794円</b>
コール・ローン等	318,800,721	296,312,737	293,414,288	306,843,045	223,940,427	178,888,564
投資信託受益証券 (評価額)	8,301,075,131	7,420,514,570	7,360,739,462	6,437,144,680	6,515,646,634	5,995,439,493
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	655,866	655,866	655,801	655,801	655,737	655,737
<b>(B) 負債</b>	<b>232,344,055</b>	<b>212,618,209</b>	<b>186,705,095</b>	<b>229,498,238</b>	<b>180,578,848</b>	<b>128,090,706</b>
未払収益分配金	195,271,070	193,714,973	124,772,245	118,449,829	112,226,359	103,943,181
未払解約金	27,185,219	8,904,941	53,756,565	103,150,090	60,193,299	17,116,404
未払信託報酬	9,827,614	9,877,463	8,006,451	7,681,676	7,894,230	6,725,016
その他未払費用	60,152	120,832	169,834	216,643	264,960	306,105
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>8,388,187,663</b>	<b>7,504,864,964</b>	<b>7,468,104,456</b>	<b>6,515,145,288</b>	<b>6,559,663,950</b>	<b>6,046,893,088</b>
元本	13,018,071,389	12,914,331,538	12,477,224,597	11,844,982,913	11,222,635,903	10,394,318,145
次期繰越損益金	△ 4,629,883,726	△ 5,409,466,574	△ 5,009,120,141	△ 5,329,837,625	△ 4,662,971,953	△ 4,347,425,057
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>13,018,071,389口</b>	<b>12,914,331,538口</b>	<b>12,477,224,597口</b>	<b>11,844,982,913口</b>	<b>11,222,635,903口</b>	<b>10,394,318,145口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	6,443円	5,811円	5,985円	5,500円	5,845円	5,817円

\*第53期末における元本額は13,287,347,522円、当作成期間(第54期~第59期)中における追加設定元本額は461,840,735円、同解約元本額は3,354,870,112円です。

\*第59期末の計算口数当りの純資産額は5,817円です。

\*第59期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,347,425,057円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第54期 自 2016年 3月 8日 至 2016年 4月 7日 第56期 自 2016年 5月 10日 至 2016年 6月 7日 第58期 自 2016年 7月 8日 至 2016年 8月 8日  
 第55期 自 2016年 4月 8日 至 2016年 5月 9日 第57期 自 2016年 6月 8日 至 2016年 7月 7日 第59期 自 2016年 8月 9日 至 2016年 9月 7日

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(A) 配当等収益	73,061,272円	79,965,734円	78,713,222円	64,819,166円	58,987,550円	58,928,363円
受取配当金	73,061,271	79,968,321	78,717,569	64,822,995	58,992,078	58,932,408
受取利息	1	1	7	23	17	22
支払利息	—	△ 2,588	△ 4,354	△ 3,852	△ 4,545	△ 4,067
(B) 有価証券売買損益	61,501,444	△ 693,332,341	270,607,571	△ 511,564,746	447,203,163	23,222,161
売買益	64,759,121	7,028,670	279,043,864	16,761,157	467,545,148	24,142,655
売買損	△ 3,257,677	△ 700,361,011	△ 8,436,293	△ 528,325,903	△ 20,341,985	△ 920,494
(C) 信託報酬等	△ 9,887,766	△ 9,938,143	△ 8,055,453	△ 7,728,708	△ 7,942,547	△ 6,766,175
(D) 当期損益金 (A + B + C)	124,674,950	△ 623,304,750	341,265,340	△ 454,474,288	498,248,166	75,384,349
(E) 前期繰越損益金	△ 4,249,918,702	△ 4,137,523,158	△ 4,634,091,903	△ 4,116,253,473	△ 4,366,585,849	△ 3,618,161,222
(F) 追加信託差損益金	△ 309,368,904	△ 454,923,693	△ 591,521,333	△ 640,660,035	△ 682,407,911	△ 700,705,003
(配当等相当額)	( 2,352,300,565)	( 2,207,120,899)	( 2,013,079,626)	( 1,865,906,228)	( 1,709,804,952)	( 1,533,553,027)
(売買損益相当額)	(△ 2,661,669,469)	(△ 2,662,044,592)	(△ 2,604,600,959)	(△ 2,506,566,263)	(△ 2,392,212,863)	(△ 2,234,258,030)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 4,434,612,656	△ 5,215,751,601	△ 4,884,347,896	△ 5,211,387,796	△ 4,550,745,594	△ 4,243,481,876
(H) 収益分配金	△ 195,271,070	△ 193,714,973	△ 124,772,245	△ 118,449,829	△ 112,226,359	△ 103,943,181
次期繰越損益金 (G + H)	△ 4,629,883,726	△ 5,409,466,574	△ 5,009,120,141	△ 5,329,837,625	△ 4,662,971,953	△ 4,347,425,057
追加信託差損益金	△ 436,947,759	△ 578,611,095	△ 639,395,278	△ 702,019,417	△ 736,572,055	△ 750,573,228
(配当等相当額)	( 2,224,721,710)	( 2,083,433,497)	( 1,965,205,681)	( 1,804,546,846)	( 1,655,640,808)	( 1,483,684,802)
(売買損益相当額)	(△ 2,661,669,469)	(△ 2,662,044,592)	(△ 2,604,600,959)	(△ 2,506,566,263)	(△ 2,392,212,863)	(△ 2,234,258,030)
繰越損益金	△ 4,192,935,967	△ 4,830,855,479	△ 4,369,724,863	△ 4,627,818,208	△ 3,926,399,898	△ 3,596,851,829

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	67,692,215円	70,027,571円	76,898,300円	57,090,447円	58,062,215円	54,074,956円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	2,352,300,565	2,207,120,899	2,013,079,626	1,865,906,228	1,709,804,952	1,533,553,027
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,419,992,780	2,277,148,470	2,089,977,926	1,922,996,675	1,767,867,167	1,587,627,983
(f) 分配金	195,271,070	193,714,973	124,772,245	118,449,829	112,226,359	103,943,181
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,224,721,710	2,083,433,497	1,965,205,681	1,804,546,846	1,655,640,808	1,483,684,802
(h) 受益権総口数	13,018,071,389口	12,914,331,538口	12,477,224,597口	11,844,982,913口	11,222,635,903口	10,394,318,145口



収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
		150円	150円	100円	100円	100円
(単 価)	(6, 443円)	(5, 811円)	(5, 985円)	(5, 500円)	(5, 845円)	(5, 817円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。) を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
30期末(2014年4月7日)	9,590	200	6.3	15,985	△ 0.6	46.17	4.1	0.0	98.8	220,950
31期末(2014年5月7日)	9,463	200	0.8	16,008	0.1	45.56	△ 1.3	0.0	98.3	222,281
32期末(2014年6月9日)	9,529	200	2.8	16,708	4.4	45.67	0.2	0.0	98.5	234,894
33期末(2014年7月7日)	9,508	200	1.9	17,017	1.8	46.18	1.1	0.0	98.5	242,479
34期末(2014年8月7日)	8,935	200	△ 3.9	16,458	△ 3.3	44.93	△ 2.7	0.0	98.0	239,840
35期末(2014年9月8日)	9,517	200	8.8	17,208	4.6	46.84	4.3	0.0	98.3	268,869
36期末(2014年10月7日)	8,734	200	△ 6.1	16,840	△ 2.1	44.90	△ 4.1	0.0	98.1	260,807
37期末(2014年11月7日)	8,639	200	1.2	17,409	3.4	44.79	△ 0.2	0.0	98.2	276,861
38期末(2014年12月8日)	8,840	200	4.6	17,787	2.2	46.97	4.9	0.0	98.4	300,293
39期末(2015年1月7日)	7,876	200	△ 8.6	17,164	△ 3.5	44.00	△ 6.3	0.0	98.1	280,073
40期末(2015年2月9日)	7,696	200	0.3	17,617	2.6	42.73	△ 2.9	0.0	98.4	289,140
41期末(2015年3月9日)	6,933	200	△ 7.3	17,752	0.8	39.41	△ 7.8	0.0	97.9	272,339
42期末(2015年4月7日)	6,391	200	△ 4.9	17,832	0.5	38.24	△ 3.0	0.0	98.1	256,078
43期末(2015年5月7日)	6,841	150	9.4	17,828	△ 0.0	39.33	2.9	0.0	97.6	281,797
44期末(2015年6月8日)	6,664	150	△ 0.4	17,937	0.6	39.94	1.6	0.0	99.1	264,829
45期末(2015年7月7日)	6,210	150	△ 4.6	17,731	△ 1.2	39.11	△ 2.1	0.0	99.1	239,212
46期末(2015年8月7日)	5,384	150	△ 10.9	17,858	0.7	35.28	△ 9.8	0.0	99.1	202,612
47期末(2015年9月7日)	4,309	150	△ 17.2	16,466	△ 7.8	30.98	△ 12.2	0.0	98.9	158,087
48期末(2015年10月7日)	4,319	100	2.6	16,969	3.1	31.23	0.8	0.0	99.1	155,297
49期末(2015年11月9日)	4,542	100	7.5	17,992	6.0	32.72	4.8	0.0	98.8	160,651
50期末(2015年12月7日)	4,577	100	3.0	17,927	△ 0.4	32.84	0.4	0.0	99.0	160,226
51期末(2016年1月7日)	3,857	100	△ 13.5	17,058	△ 4.8	29.44	△ 10.4	0.0	98.9	132,134
52期末(2016年2月8日)	3,630	100	△ 3.3	16,113	△ 5.5	29.95	1.7	0.0	99.0	121,832
53期末(2016年3月7日)	3,871	100	9.4	17,141	6.4	30.29	1.1	0.0	99.0	128,718
54期末(2016年4月7日)	3,832	100	1.6	17,713	3.3	30.10	△ 0.6	—	99.0	125,430
55期末(2016年5月9日)	3,703	100	△ 0.8	17,631	△ 0.5	30.69	2.0	0.0	98.9	120,334
56期末(2016年6月7日)	3,860	70	6.1	18,079	2.5	30.77	0.3	0.0	98.6	123,741
57期末(2016年7月7日)	3,700	70	△ 2.3	17,996	△ 0.5	30.32	△ 1.5	0.0	99.4	111,135
58期末(2016年8月8日)	4,080	70	12.2	18,709	4.0	32.25	6.4	0.0	99.3	117,443
59期末(2016年9月7日)	4,000	70	△ 0.2	18,740	0.2	31.71	△ 1.7	0.0	99.3	112,873

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

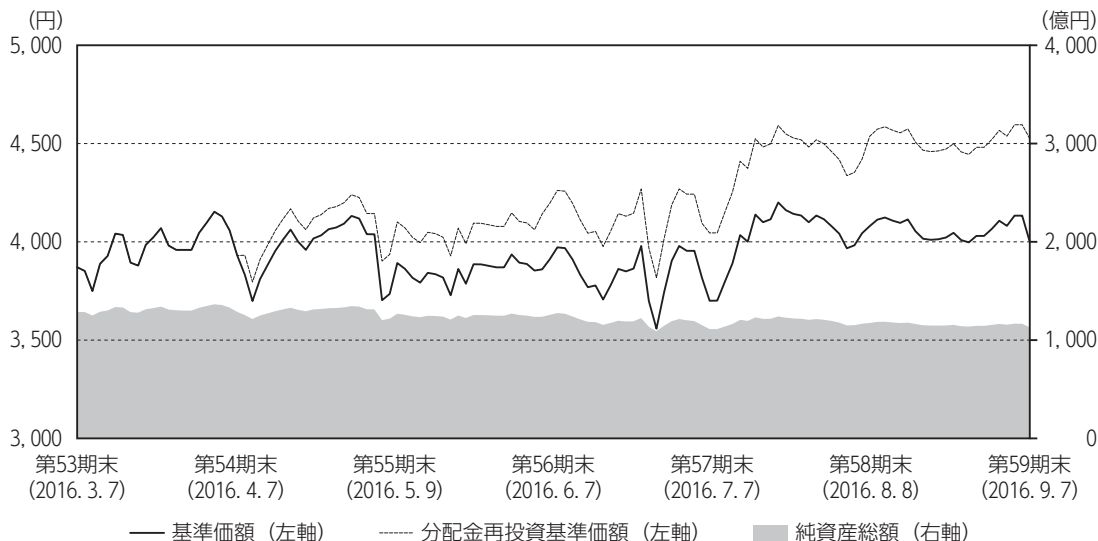
(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

### ■基準価額・騰落率

第54期首：3,871円

第59期末：4,000円 (既払分配金480円)

騰落率：16.9% (分配金再投資ベース)

### ■基準価額の変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) (以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」) といひます。) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を活用した結果、株価が上昇したことやブラジル・リアルが対円で上昇したこと、為替取引によるプレミアム (金利差相当分の収益) が寄与し、値上がりしました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第54期	(期首) 2016年 3月 7日	3,871	—	17,141	—	30.29	—	0.0	99.0
	3月末	4,098	5.9	17,690	3.2	31.25	3.2	—	98.8
	(期末) 2016年 4月 7日	3,932	1.6	17,713	3.3	30.10	△ 0.6	—	99.0
第55期	(期首) 2016年 4月 7日	3,832	—	17,713	—	30.10	—	—	99.0
	4月末	4,118	7.5	17,957	1.4	31.10	3.3	0.0	96.4
	(期末) 2016年 5月 9日	3,803	△ 0.8	17,631	△ 0.5	30.69	2.0	0.0	98.9
第56期	(期首) 2016年 5月 9日	3,703	—	17,631	—	30.69	—	0.0	98.9
	5月末	3,870	4.5	17,991	2.0	31.07	1.2	0.0	99.0
	(期末) 2016年 6月 7日	3,930	6.1	18,079	2.5	30.77	0.3	0.0	98.6
第57期	(期首) 2016年 6月 7日	3,860	—	18,079	—	30.77	—	0.0	98.6
	6月末	3,903	1.1	17,748	△ 1.8	31.94	3.8	0.0	99.9
	(期末) 2016年 7月 7日	3,770	△ 2.3	17,996	△ 0.5	30.32	△ 1.5	0.0	99.4
第58期	(期首) 2016年 7月 7日	3,700	—	17,996	—	30.32	—	0.0	99.4
	7月末	4,115	11.2	18,599	3.3	31.68	4.5	0.0	99.0
	(期末) 2016年 8月 8日	4,150	12.2	18,709	4.0	32.25	6.4	0.0	99.3
第59期	(期首) 2016年 8月 8日	4,080	—	18,709	—	32.25	—	0.0	99.3
	8月末	4,065	△ 0.4	18,651	△ 0.3	31.84	△ 1.3	0.0	99.7
	(期末) 2016年 9月 7日	4,070	△ 0.2	18,740	0.2	31.71	△ 1.7	0.0	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。

米国株式市況は、第54期首より、ECB（欧州中央銀行）が追加金融緩和策を発表したことや、FOMC（米国連邦公開市場委員会）における声明が予想以上に緩和的だったことなどを受けて、上昇して始まりました。2016年5月下旬から6月上旬にかけては、原油価格の上昇や好調な米国経済指標などを好感してさらに上昇しました。6月下旬には、英国の国民投票においてEU（欧州連合）離脱派が勝利したことから大幅に下落しましたが、その後は、各国の中央銀行が対策を講じるとの見方が広がったことなどを受けて反発し、7月中旬にかけて上昇しました。8月から第59期末にかけては方向感のない推移となりました。

### ○為替相場

ブラジル・リアルは対円で上昇しました。

第54期首から2016年7月中旬にかけては、レアルの対円レートは比較的狭い範囲内での推移となりました。4月下旬の日銀金融政策決定会合において追加緩和が見送られたことや、6月の英国におけるEU離脱の是非を問う国民投票においてEU離脱派が勝利したことは円買い要因となりましたが、原油価格が堅調に推移したことや、ブラジル国内で5月中旬にルセフ大統領の弾劾評決による職務停止とテメル大統領代行の就任が決まり、新政権に対する期待が高まったことはレアル買い要因となりました。7月中旬の参議院議員選挙での与党勝利を受けて、安倍首相が大型の経済対策実施の方針を示すと、レアルは対円で上昇しました。

### ○短期金利市況

ブラジル中央銀行は、政策金利を14.25%で据え置きました。一方、FRB（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを0.25～0.50%で据え置きました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準 (G I C S) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行ないます。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行ないました。

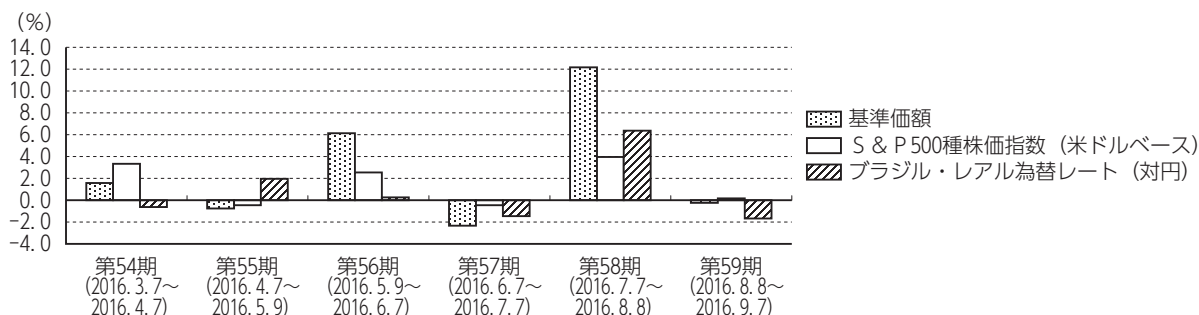
### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

1万口当り分配金 (税込み) は、第54期～第55期はそれぞれ100円、第56期～第59期はそれぞれ70円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程 (1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ■分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2016年3月8日 ～2016年4月7日	2016年4月8日 ～2016年5月9日	2016年5月10日 ～2016年6月7日	2016年6月8日 ～2016年7月7日	2016年7月8日 ～2016年8月8日	2016年8月9日 ～2016年9月7日
当期分配金 (税込み) (円)	100	100	70	70	70	70
対基準価額比率 (%)	2.54	2.63	1.78	1.86	1.69	1.72
当期の収益 (円)	55	59	70	63	61	70
当期の収益以外 (円)	44	40	—	6	8	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,611	1,571	1,574	1,567	1,558	1,561

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	55.59円	59.86円	72.58円	63.20円	61.52円	72.10円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,655.90	1,611.61	1,571.55	1,571.62	1,567.45	1,559.07
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	2.57	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,711.49	1,671.47	1,644.14	1,637.41	1,628.97	1,631.18
(f) 分配金	100.00	100.00	70.00	70.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,611.49	1,571.47	1,574.14	1,567.41	1,558.97	1,561.18

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行ないます。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。



1 万口当りの費用の明細

項 目	第54期～第59期		項 目 の 概 要
	(2016. 3. 8～2016. 9. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	26円	0.665%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は3,959円です。</b>
（投信会社）	(9)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(17)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.000	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	26	0.665	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2016年3月8日から2016年9月7日まで)

決算期	第54期～第59期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	231,764.868	12,610,601	634,658.941	34,900,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2016年3月8日から2016年9月7日まで)

買付銘柄	第54期			第59期		
	付			売付		
	□数	金額	平均単価	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円	千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	634,658.941	34,900,000	54			

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第54期～第59期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第54期～第59期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年3月8日から2016年9月7日まで)

区分	第54期～第59期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	196,575	21,600	11.0	—	—	—
コール・ローン	4,294,200	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフান  
ドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 59 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	1,988,411.08	112,128,489	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年9月7日現在

項 目	第 59 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	112,128,489	97.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,487	0.0
コール・ローン等、その他	3,348,983	2.9
投資信託財産総額	115,481,960	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 59 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,401	4,401	4,487

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年4月7日)、(2016年5月9日)、(2016年6月7日)、(2016年7月7日)、(2016年8月8日)、(2016年9月7日) 現在

項 目	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末
<b>(A) 資産</b>	<b>129,360,022,630円</b>	<b>124,037,958,693円</b>	<b>126,859,021,436円</b>	<b>114,767,802,081円</b>	<b>120,348,228,146円</b>	<b>115,481,960,858円</b>
コール・ローン等	5,145,002,581	4,978,655,305	4,836,795,300	4,349,733,136	3,751,664,354	3,348,983,710
投資信託受益証券 (評価額)	124,210,531,285	119,054,814,624	122,017,737,812	110,413,580,621	116,592,075,908	112,128,489,264
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	4,488,764	4,488,764	4,488,324	4,488,324	4,487,884	4,487,884
<b>(B) 負債</b>	<b>3,929,545,799</b>	<b>3,703,762,252</b>	<b>3,117,461,593</b>	<b>3,632,154,325</b>	<b>2,904,631,541</b>	<b>2,608,784,436</b>
未払収益分配金	3,273,165,987	3,249,627,989	2,244,164,625	2,102,581,531	2,015,188,175	1,975,159,464
未払解約金	508,566,679	302,372,343	742,256,515	1,398,268,301	750,521,267	506,450,374
未払信託報酬	147,635,159	151,403,707	130,519,846	130,613,604	138,043,144	126,128,645
その他未払費用	177,974	358,213	520,607	690,889	878,955	1,045,953
<b>(C) 純資産総額 (A-B)</b>	<b>125,430,476,831</b>	<b>120,334,196,441</b>	<b>123,741,559,843</b>	<b>111,135,647,756</b>	<b>117,443,596,605</b>	<b>112,873,176,422</b>
元本	327,316,598,762	324,962,798,959	320,594,946,466	300,368,790,231	287,884,025,102	282,165,637,824
次期繰越損益金	△201,886,121,931	△204,628,602,518	△196,853,386,623	△189,233,142,475	△170,440,428,497	△169,292,461,402
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>327,316,598,762□</b>	<b>324,962,798,959□</b>	<b>320,594,946,466□</b>	<b>300,368,790,231□</b>	<b>287,884,025,102□</b>	<b>282,165,637,824□</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	3,832円	3,703円	3,860円	3,700円	4,080円	4,000円

\*第53期末における元本額は332,543,582,521円、当作成期間 (第54期~第59期) 中における追加設定元本額は11,741,135,780円、同解約元本額は62,119,080,477円です。

\*第59期末の計算口数当りの純資産額は4,000円です。

\*第59期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は169,292,461,402円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ - ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第54期 自 2016年 3月 8日 至 2016年 4月 7日 第56期 自 2016年 5月10日 至 2016年 6月 7日 第58期 自 2016年 7月 8日 至 2016年 8月 8日  
 第55期 自 2016年 4月 8日 至 2016年 5月 9日 第57期 自 2016年 6月 8日 至 2016年 7月 7日 第59期 自 2016年 8月 9日 至 2016年 9月 7日

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(A) 配当等収益	1,954,625,484円	2,096,985,878円	2,368,949,852円	2,029,369,047円	1,790,006,009円	2,160,946,619円
受取配当金	1,954,625,340	2,097,013,814	2,369,008,720	2,029,429,045	1,790,075,347	2,160,996,345
受取利息	144	102	193	691	241	155
支払利息	—	△ 28,038	△ 59,061	△ 60,689	△ 69,579	△ 49,881
(B) 有価証券売買損益	184,295,122	△ 2,905,184,197	5,019,619,487	△ 4,592,145,662	11,281,875,608	△ 2,300,068,041
売買益	224,963,937	245,903,428	5,069,642,925	177,193,170	11,636,055,684	46,363,184
売買損	△ 40,668,815	△ 3,151,087,625	△ 50,023,438	△ 4,769,338,832	△ 354,180,076	△ 2,346,431,225
(C) 信託報酬等	△ 147,813,133	△ 151,583,946	△ 130,682,240	△ 130,786,799	△ 138,231,210	△ 126,295,774
(D) 当期損益金 (A + B + C)	1,991,107,473	△ 959,782,265	7,257,887,099	△ 2,693,563,414	12,933,650,407	△ 265,417,196
(E) 前期繰越損益金	△ 133,524,514,652	△ 131,546,137,201	△ 131,758,166,491	△ 118,224,430,738	△ 117,361,805,406	△ 103,196,747,474
(F) 追加信託差損益金	△ 67,079,548,765	△ 68,873,055,063	△ 70,108,942,606	△ 66,212,566,792	△ 63,997,085,323	△ 63,855,137,268
(配当等相当額)	( 54,200,446,187)	( 52,371,464,844)	( 50,383,263,980)	( 47,206,808,974)	( 45,124,498,823)	( 43,991,837,740)
(売買損益相当額)	(△ 121,279,994,952)	(△ 121,244,519,907)	(△ 120,492,206,586)	(△ 113,419,375,766)	(△ 109,121,584,146)	(△ 107,846,975,008)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 198,612,955,944	△ 201,378,974,529	△ 194,609,221,998	△ 187,130,560,944	△ 168,425,240,322	△ 167,317,301,938
(H) 収益分配金	△ 3,273,165,987	△ 3,249,627,989	△ 2,244,164,625	△ 2,102,581,531	△ 2,015,188,175	△ 1,975,159,464
次期繰越損益金 (G + H)	△ 201,886,121,931	△ 204,628,602,518	△ 196,853,386,623	△ 189,233,142,475	△ 170,440,428,497	△ 169,292,461,402
追加信託差損益金	△ 68,533,160,912	△ 70,177,281,275	△ 70,108,942,606	△ 66,339,249,798	△ 64,241,191,554	△ 63,855,137,268
(配当等相当額)	( 52,746,834,040)	( 51,067,238,632)	( 50,383,263,980)	( 47,080,125,968)	( 44,880,392,592)	( 43,991,837,740)
(売買損益相当額)	(△ 121,279,994,952)	(△ 121,244,519,907)	(△ 120,492,206,586)	(△ 113,419,375,766)	(△ 109,121,584,146)	(△ 107,846,975,008)
分配準備積立金	—	—	82,888,285	—	—	59,491,160
繰越損益金	△ 133,352,961,019	△ 134,451,321,243	△ 126,827,332,302	△ 122,893,892,677	△ 106,199,236,943	△ 105,496,815,294

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,819,553,840円	1,945,401,777円	2,327,052,910円	1,898,582,154円	1,771,081,944円	2,034,650,624円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	54,200,446,187	52,371,464,844	50,383,263,980	47,206,808,974	45,124,498,823	43,991,837,740
(d) 分配準備積立金	0	0	0	77,316,371	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	56,020,000,027	54,316,866,621	52,710,316,890	49,182,707,499	46,895,580,767	46,026,488,364
(f) 分配金	3,273,165,987	3,249,627,989	2,244,164,625	2,102,581,531	2,015,188,175	1,975,159,464
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	52,746,834,040	51,067,238,632	50,466,152,265	47,080,125,968	44,880,392,592	44,051,328,900
(h) 受益権総口数	327,316,598,762□	324,962,798,959□	320,594,946,466□	300,368,790,231□	287,884,025,102□	282,165,637,824□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	100円	100円	70円	70円	70円	70円
(単 価)	(3, 832円)	(3, 703円)	(3, 860円)	(3, 700円)	(4, 080円)	(4, 000円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。) を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

★米ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
30期末(2014年4月7日)	15,029	90	2.6	21,494	△ 0.5	0.0	99.7	4,329
31期末(2014年5月7日)	14,873	90	△ 0.4	21,191	△ 1.4	0.0	98.9	4,142
32期末(2014年6月9日)	15,249	90	3.1	22,327	5.4	0.0	98.8	4,023
33期末(2014年7月7日)	15,260	90	0.7	22,659	1.5	0.0	99.4	3,844
34期末(2014年8月7日)	14,775	90	△ 2.6	21,909	△ 3.3	0.0	99.3	3,611
35期末(2014年9月8日)	15,665	90	6.6	23,561	7.5	0.0	98.7	3,678
36期末(2014年10月7日)	15,568	150	0.3	23,903	1.4	0.0	98.7	3,636
37期末(2014年11月7日)	16,302	150	5.7	26,099	9.2	0.0	96.1	4,333
38期末(2014年12月8日)	16,999	300	6.1	28,177	8.0	0.0	98.7	4,965
39期末(2015年1月7日)	15,720	300	△ 5.8	26,577	△ 5.7	0.0	96.7	6,754
40期末(2015年2月9日)	15,784	300	2.3	27,294	2.7	0.0	97.6	8,682
41期末(2015年3月9日)	15,682	300	1.3	27,927	2.3	0.0	97.3	10,839
42期末(2015年4月7日)	15,053	300	△ 2.1	27,770	△ 0.6	0.0	95.2	15,292
43期末(2015年5月7日)	15,380	300	4.2	27,717	△ 0.2	0.0	97.7	16,658
44期末(2015年6月8日)	15,586	300	3.3	29,328	5.8	0.0	98.8	16,531
45期末(2015年7月7日)	14,327	300	△ 6.2	28,353	△ 3.3	0.0	98.7	15,810
46期末(2015年8月7日)	13,920	300	△ 0.7	29,024	2.4	0.0	97.9	15,460
47期末(2015年9月7日)	12,014	300	△ 11.5	25,546	△ 12.0	0.0	98.1	13,838
48期末(2015年10月7日)	12,194	300	4.0	26,600	4.1	0.0	98.6	14,448
49期末(2015年11月9日)	12,657	300	6.3	28,906	8.7	0.0	98.7	15,997
50期末(2015年12月7日)	12,341	300	△ 0.1	28,787	△ 0.4	0.0	97.7	16,213
51期末(2016年1月7日)	11,055	300	△ 8.0	26,368	△ 8.4	0.0	98.2	15,525
52期末(2016年2月8日)	10,073	300	△ 6.2	24,568	△ 6.8	0.0	98.2	14,784
53期末(2016年3月7日)	10,138	300	3.6	25,394	3.4	0.0	98.6	15,137
54期末(2016年4月7日)	9,804	300	△ 0.3	25,294	△ 0.4	—	98.6	15,015
55期末(2016年5月9日)	9,023	300	△ 4.9	24,684	△ 2.4	0.0	98.5	14,587
56期末(2016年6月7日)	9,217	200	4.4	25,294	2.5	0.0	96.9	15,563
57期末(2016年7月7日)	8,295	200	△ 7.8	23,678	△ 6.4	0.0	99.0	13,834
58期末(2016年8月8日)	8,641	200	6.6	24,893	5.1	0.0	98.9	14,295
59期末(2016年9月7日)	8,461	200	0.2	24,751	△ 0.6	0.0	98.4	14,017

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (円換算) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

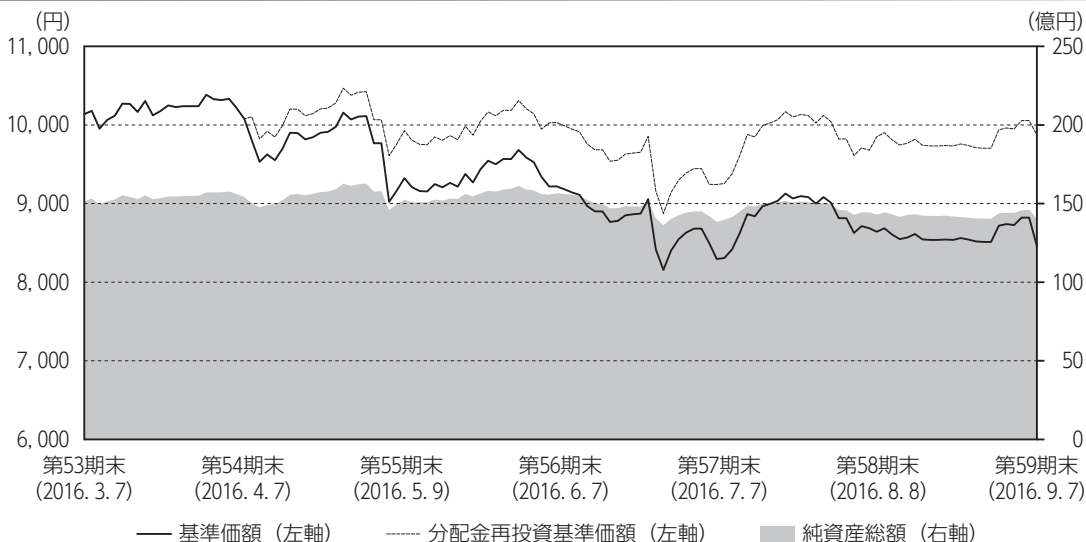
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



- \* 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

### ■基準価額・騰落率

第54期首：10,138円

第59期末：8,461円 (既払分配金1,400円)

騰落率：△2.6% (分配金再投資ベース)

### ■基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド(米ドル・クラス)(以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド(米ドル・クラス)」といいます。)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド(米ドル・クラス)の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド(米ドル・クラス)については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことはプラスに寄与しましたが、米ドルが対円で下落したことがマイナス要因となり、値下がりしました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率		(参考指数)	騰 落 率		
第54期	(期首) 2016年 3月 7日	10,138	—	25,394	—	0.0	98.6
	3月末	10,328	1.9	25,971	2.3	—	98.0
	(期末) 2016年 4月 7日	10,104	△ 0.3	25,294	△ 0.4	—	98.6
第55期	(期首) 2016年 4月 7日	9,804	—	25,294	—	—	98.6
	4月末	10,113	3.2	25,678	1.5	0.0	96.1
	(期末) 2016年 5月 9日	9,323	△ 4.9	24,684	△ 2.4	0.0	98.5
第56期	(期首) 2016年 5月 9日	9,023	—	24,684	—	0.0	98.5
	5月末	9,566	6.0	26,005	5.4	0.0	98.0
	(期末) 2016年 6月 7日	9,417	4.4	25,294	2.5	0.0	96.9
第57期	(期首) 2016年 6月 7日	9,217	—	25,294	—	0.0	96.9
	6月末	8,547	△ 7.3	23,797	△ 5.9	0.0	98.9
	(期末) 2016年 7月 7日	8,495	△ 7.8	23,678	△ 6.4	0.0	99.0
第58期	(期首) 2016年 7月 7日	8,295	—	23,678	—	0.0	99.0
	7月末	9,011	8.6	25,304	6.9	0.0	98.9
	(期末) 2016年 8月 8日	8,841	6.6	24,893	5.1	0.0	98.9
第59期	(期首) 2016年 8月 8日	8,641	—	24,893	—	0.0	98.9
	8月末	8,718	0.9	25,074	0.7	0.0	99.3
	(期末) 2016年 9月 7日	8,661	0.2	24,751	△ 0.6	0.0	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

### ○米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。

米国株式市況は、第54期首より、E C B（欧州中央銀行）が追加金融緩和策を発表したことや、F O M C（米国連邦公開市場委員会）における声明が予想以上に緩和的だったことなどを受けて、上昇して始まりました。2016年5月下旬から6月上旬にかけては、原油価格の上昇や好調な米国経済指標などを好感してさらに上昇しました。6月下旬には、英国の国民投票においてE U（欧州連合）離脱派が勝利したことから大幅に下落しましたが、その後は、各国の中央銀行が対策を講じるとの見方が広がったことなどを受けて反発し、7月中旬にかけて上昇しました。8月から第59期末にかけては方向感のない推移となりました。

### ○為替相場

米ドルは対円で下落しました。

第54期首より、2016年3月中旬に開催されたF O M Cで、金融政策の現状維持が決定されたほか政策金利の見通しについては下方修正となる年内2回の利上げが示唆されたことなどを受けて、ドルは下落して始まりました。6月に入ると、英国におけるE U離脱の是非を問う国民投票をめぐる先行き不透明感から軟調に推移する展開となり、6月下旬にE U離脱派の勝利が決まると大きく下落しました。7月中旬の参議院議員選挙での与党勝利を受けてドルの対円レートも反発しましたが、7月末にかけては、日本の当局による追加の財政・金融政策への期待が後退したことから再び下落しました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式

## ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－ 米ドル・コース（毎月分配型）

を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

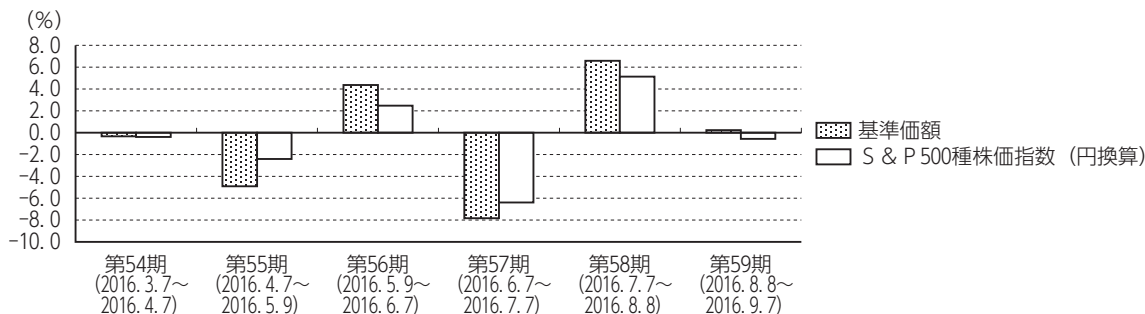
### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第54期～第55期はそれぞれ300円、第56期～第59期はそれぞれ200円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2016年3月8日 ～2016年4月7日	2016年4月8日 ～2016年5月9日	2016年5月10日 ～2016年6月7日	2016年6月8日 ～2016年7月7日	2016年7月8日 ～2016年8月8日	2016年8月9日 ～2016年9月7日
当期分配金（税込み）（円）	300	300	200	200	200	200
対基準価額比率（%）	2.97	3.22	2.12	2.35	2.26	2.31
当期の収益（円）	65	66	72	65	67	61
当期の収益以外（円）	234	233	127	134	132	138
翌期繰越分配対象額（円）	4,559	4,328	4,204	4,070	3,939	3,802

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	65.75円	66.99円	72.60円	65.35円	67.97円	61.69円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	4,793.59	4,561.79	4,331.42	4,205.36	4,071.82	3,940.36
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	4,859.35	4,628.78	4,404.02	4,270.72	4,139.79	4,002.05
(f) 分配金	300.00	300.00	200.00	200.00	200.00	200.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	4,559.35	4,328.78	4,204.02	4,070.72	3,939.79	3,802.05

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第54期～第59期		項 目 の 概 要
	(2016. 3. 8～2016. 9. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	62円	0.667%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は9,265円です。</b>
(投信会社)	(20)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(40)	(0.436)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	62	0.670	

(注1) 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券 (マザーファンドを除く。) が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

# ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－ 米ドル・コース（毎月分配型）

## ■売買および取引の状況

### 投資信託受益証券

(2016年3月8日から2016年9月7日まで)

決算期	第54期～第59期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	千口 17,898,521	千円 2,280,575	千口 18,427,335	千円 2,300,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

### 投資信託受益証券

(2016年3月8日から2016年9月7日まで)

銘柄	第54期			第59期		
	買付			売付		
	口数	金額	平均単価	口数	金額	平均単価
CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	千口 11,969,704	千円 1,540,000	円 128	千口 18,427,335	千円 2,300,000	円 124

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況

### (1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第54期～第59期）中における利害関係人との取引はありません。

### (3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第54期～第59期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

### (2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年3月8日から2016年9月7日まで)

区分	第54期～第59期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 196,575	百万円 21,600	% 11.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	4,294,200	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) – トリプル・リターンズ – 米ドル・コース (毎月分配型)

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 59 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	113,177,538	13,797,813	98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年9月7日現在

項 目	第 59 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	13,797,813	96.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	13	0.0
コール・ローン等、その他	574,173	4.0
投資信託財産総額	14,372,000	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 59 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	12	12	13

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年4月7日)、(2016年5月9日)、(2016年6月7日)、(2016年7月7日)、(2016年8月8日)、(2016年9月7日) 現在

項 目	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末
<b>(A) 資産</b>	<b>15,596,100,927円</b>	<b>15,173,567,673円</b>	<b>15,969,859,035円</b>	<b>14,262,362,288円</b>	<b>14,717,113,128円</b>	<b>14,372,000,183円</b>
コール・ローン等	791,815,616	801,655,891	896,394,394	562,449,655	574,580,011	574,173,901
投資信託受益証券 (評価額)	14,804,272,274	14,371,898,745	15,073,451,606	13,699,899,598	14,142,520,083	13,797,813,248
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	13,037	13,037	13,035	13,035	13,034	13,034
<b>(B) 負債</b>	<b>580,159,390</b>	<b>586,356,083</b>	<b>406,417,404</b>	<b>427,637,706</b>	<b>421,360,149</b>	<b>354,783,099</b>
未払収益分配金	459,471,787	484,975,225	337,716,130	333,559,602	330,896,695	331,342,118
未払解約金	103,250,015	82,990,673	52,121,174	77,520,001	72,878,432	7,327,164
未払信託報酬	17,331,489	18,172,215	16,262,578	16,142,351	17,064,809	15,498,769
その他未払費用	106,099	217,970	317,522	415,752	520,213	615,048
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>15,015,941,537</b>	<b>14,587,211,590</b>	<b>15,563,441,631</b>	<b>13,834,724,582</b>	<b>14,295,752,979</b>	<b>14,017,217,084</b>
元本	15,315,726,247	16,165,840,864	16,885,806,503	16,677,980,116	16,544,834,750	16,567,105,927
次期繰越損益金	△ 299,784,710	△ 1,578,629,274	△ 1,322,364,872	△ 2,843,255,534	△ 2,249,081,771	△ 2,549,888,843
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>15,315,726,247口</b>	<b>16,165,840,864口</b>	<b>16,885,806,503口</b>	<b>16,677,980,116口</b>	<b>16,544,834,750口</b>	<b>16,567,105,927口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	9,804円	9,023円	9,217円	8,295円	8,641円	8,461円

\* 第53期末における元本額は14,930,986,836円、当作成期間 (第54期～第59期) 中における追加設定元本額は4,751,004,709円、同解約元本額は3,114,885,618円です。

\* 第59期末の計算口数当りの純資産額は8,461円です。

\* 第59期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,549,888,843円です。

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－米ドル・コース（毎月分配型）

■損益の状況

第54期 自 2016年 3月 8日 至 2016年 4月 7日	第55期 自 2016年 4月 8日 至 2016年 5月 9日	第56期 自 2016年 5月 10日 至 2016年 6月 7日	第57期 自 2016年 6月 8日 至 2016年 7月 7日	第58期 自 2016年 7月 8日 至 2016年 8月 8日	第59期 自 2016年 8月 9日 至 2016年 9月 7日	
項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(A) 配当等収益	118,144,360円	126,583,095円	125,799,103円	125,244,569円	114,646,056円	117,807,663円
受取配当金	118,144,348	126,593,897	125,814,258	125,257,362	114,657,097	117,817,295
受取利息	12	12	36	120	25	21
支払利息	—	△ 10,814	△ 15,191	△ 12,913	△ 11,066	△ 9,653
(B) 有価証券売買損益	△ 157,439,377	△ 889,584,641	△ 517,262,400	△ 1,286,835,020	△ 785,517,298	△ 68,129,082
売買益	753,648	10,969,449	532,832,634	40,416,064	815,100,032	5,855,269
売買損	△ 158,193,025	△ 900,554,090	△ 15,570,234	△ 1,327,251,084	△ 29,582,734	△ 73,984,351
(C) 信託報酬等	△ 17,437,588	△ 18,284,086	△ 16,362,130	△ 16,241,208	△ 17,169,270	△ 15,593,643
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 56,732,605	△ 781,285,632	△ 626,699,373	△ 1,177,831,659	△ 882,994,084	△ 34,084,938
(E) 前期繰越損益金	△ 3,465,993,701	△ 3,569,463,886	△ 4,303,048,715	△ 3,595,507,447	△ 4,711,828,966	△ 3,848,557,526
(F) 追加信託差損益金	3,682,413,383	3,257,095,469	2,691,700,600	2,263,643,174	1,910,649,806	1,595,925,863
(配当等相当額)	( 7,341,743,531)	( 7,374,527,264)	( 7,313,958,649)	( 7,013,702,678)	( 6,736,770,721)	( 6,528,037,010)
(売買損益相当額)	(△ 3,659,330,148)	(△ 4,117,431,795)	(△ 4,622,258,049)	(△ 4,750,059,504)	(△ 4,826,120,915)	(△ 4,932,111,147)
(G) 合計 (D + E + F)	159,687,077	△ 1,093,654,049	△ 984,648,742	△ 2,509,695,932	△ 1,918,185,076	△ 2,218,546,725
(H) 収益分配金	△ 459,471,787	△ 484,975,225	△ 337,716,130	△ 333,559,602	△ 330,896,695	△ 331,342,118
次期繰越損益金 (G + H)	△ 299,784,710	△ 1,578,629,274	△ 1,322,364,872	△ 2,843,255,534	△ 2,249,081,771	△ 2,549,888,843
追加信託差損益金	3,323,648,368	2,880,419,253	2,476,583,140	2,039,086,933	1,692,211,802	1,366,797,765
(配当等相当額)	( 6,982,978,516)	( 6,997,851,048)	( 7,098,841,189)	( 6,789,146,437)	( 6,518,332,717)	( 6,298,908,912)
(売買損益相当額)	(△ 3,659,330,148)	(△ 4,117,431,795)	(△ 4,622,258,049)	(△ 4,750,059,504)	(△ 4,826,120,915)	(△ 4,932,111,147)
繰越損益金	△ 3,623,433,078	△ 4,459,048,527	△ 3,798,948,012	△ 4,882,342,467	△ 3,941,293,573	△ 3,916,686,608

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	100,706,772円	108,299,009円	122,598,670円	109,003,361円	112,458,691円	102,214,020円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	7,341,743,531	7,374,527,264	7,313,958,649	7,013,702,678	6,736,770,721	6,528,037,010
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	7,442,450,303	7,482,826,273	7,436,557,319	7,122,706,039	6,849,229,412	6,630,251,030
(f) 分配金	459,471,787	484,975,225	337,716,130	333,559,602	330,896,695	331,342,118
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	6,982,978,516	6,997,851,048	7,098,841,189	6,789,146,437	6,518,332,717	6,298,908,912
(h) 受益権総口数	15,315,726,247口	16,165,840,864口	16,885,806,503口	16,677,980,116口	16,544,834,750口	16,567,105,927口



収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	300円	300円	200円	200円	200円	200円
(単 価)	(9, 804円)	(9, 023円)	(9, 217円)	(8, 295円)	(8, 641円)	(8, 461円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。) を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★通貨セレクト・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
10期末(2014年4月7日)	10,113	100	5.4	11,273	△ 0.6	0.0	98.9	993
11期末(2014年5月7日)	10,021	100	0.1	11,289	0.1	0.0	98.7	1,038
12期末(2014年6月9日)	10,385	100	4.6	11,783	4.4	0.0	98.9	1,163
13期末(2014年7月7日)	10,358	100	0.7	12,001	1.8	0.0	98.4	1,127
14期末(2014年8月7日)	9,785	100	△ 4.6	11,607	△ 3.3	0.0	98.9	1,061
15期末(2014年9月8日)	10,377	100	7.1	12,136	4.6	0.0	98.8	1,131
16期末(2014年10月7日)	9,715	100	△ 5.4	11,876	△ 2.1	0.0	99.0	830
17期末(2014年11月7日)	9,863	100	2.6	12,278	3.4	0.0	98.8	928
18期末(2014年12月8日)	10,060	100	3.0	12,544	2.2	0.0	98.9	929
19期末(2015年1月7日)	8,948	100	△ 10.1	12,105	△ 3.5	0.0	98.4	843
20期末(2015年2月9日)	8,877	100	0.3	12,424	2.6	0.0	98.9	839
21期末(2015年3月9日)	8,569	100	△ 2.3	12,520	0.8	0.0	98.6	834
22期末(2015年4月7日)	8,336	100	△ 1.6	12,576	0.5	0.0	98.8	805
23期末(2015年5月7日)	8,566	100	4.0	12,573	△ 0.0	0.0	98.8	843
24期末(2015年6月8日)	8,505	100	0.5	12,650	0.6	0.0	98.9	819
25期末(2015年7月7日)	7,941	100	△ 5.5	12,505	△ 1.2	0.0	98.3	755
26期末(2015年8月7日)	7,415	100	△ 5.4	12,594	0.7	0.0	98.8	602
27期末(2015年9月7日)	6,063	100	△ 16.9	11,613	△ 7.8	0.0	98.0	473
28期末(2015年10月7日)	6,336	100	6.2	11,968	3.1	0.0	98.7	501
29期末(2015年11月9日)	6,677	100	7.0	12,689	6.0	0.0	98.9	531
30期末(2015年12月7日)	6,550	100	△ 0.4	12,643	△ 0.4	0.0	98.8	491
31期末(2016年1月7日)	5,665	100	△ 12.0	12,030	△ 4.8	0.0	98.9	438
32期末(2016年2月8日)	5,242	100	△ 5.7	11,364	△ 5.5	0.0	98.8	399
33期末(2016年3月7日)	5,475	100	6.4	12,089	6.4	0.0	99.0	407
34期末(2016年4月7日)	5,424	100	0.9	12,492	3.3	—	99.0	397
35期末(2016年5月9日)	5,078	100	△ 4.5	12,434	△ 0.5	0.0	98.3	358
36期末(2016年6月7日)	5,184	100	4.1	12,750	2.5	0.0	98.9	365
37期末(2016年7月7日)	4,739	100	△ 6.7	12,692	△ 0.5	0.0	99.3	320
38期末(2016年8月8日)	5,007	100	7.8	13,194	4.0	0.0	98.8	332
39期末(2016年9月7日)	4,957	100	1.0	13,216	0.2	0.0	98.9	290

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

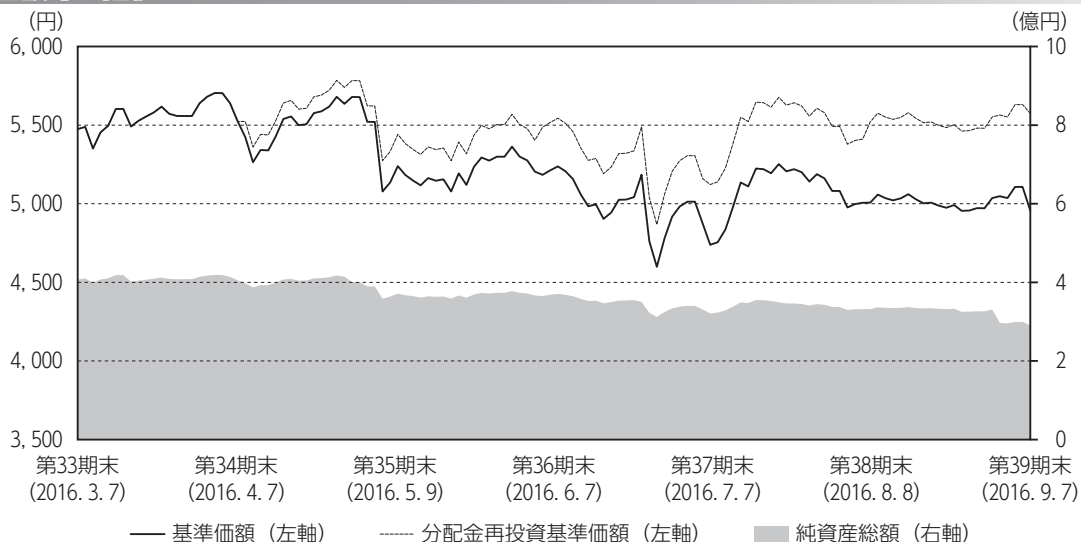
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかにについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

### ■基準価額・騰落率

第34期首：5,475円

第39期末：4,957円 (既払分配金600円)

騰落率：1.8% (分配金再投資ベース)

### ■基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) (以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」といいます。) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を活用した結果、選定通貨が対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、株価が上昇したことや為替取引によるプレミアム (金利差相当分の収益) が寄与し、値上がりしました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第34期	(期首) 2016年 3月 7日	円 5,475	% —	12,089	% —	% 0.0	% 99.0
	3月末	5,681	3.8	12,475	3.2	—	98.5
	(期末) 2016年 4月 7日	5,524	0.9	12,492	3.3	—	99.0
第35期	(期首) 2016年 4月 7日	5,424	—	12,492	—	—	99.0
	4月末	5,678	4.7	12,664	1.4	0.0	96.7
	(期末) 2016年 5月 9日	5,178	△ 4.5	12,434	△ 0.5	0.0	98.3
第36期	(期首) 2016年 5月 9日	5,078	—	12,434	—	0.0	98.3
	5月末	5,299	4.4	12,688	2.0	0.0	98.9
	(期末) 2016年 6月 7日	5,284	4.1	12,750	2.5	0.0	98.9
第37期	(期首) 2016年 6月 7日	5,184	—	12,750	—	0.0	98.9
	6月末	4,917	△ 5.2	12,517	△ 1.8	0.0	98.5
	(期末) 2016年 7月 7日	4,839	△ 6.7	12,692	△ 0.5	0.0	99.3
第38期	(期首) 2016年 7月 7日	4,739	—	12,692	—	0.0	99.3
	7月末	5,162	8.9	13,117	3.3	0.0	99.0
	(期末) 2016年 8月 8日	5,107	7.8	13,194	4.0	0.0	98.8
第39期	(期首) 2016年 8月 8日	5,007	—	13,194	—	0.0	98.8
	8月末	5,036	0.6	13,153	△ 0.3	0.0	88.3
	(期末) 2016年 9月 7日	5,057	1.0	13,216	0.2	0.0	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。

米国株式市況は、第34期首より、E C B (欧州中央銀行) が追加金融緩和策を発表したことや、F O M C (米国連邦公開市場委員会) における声明が予想以上に緩和的だったことなどを受けて、上昇して始まりました。2016年5月下旬から6月上旬にかけては、原油価格の上昇や好調な米国経済指標などを好感してさらに上昇しました。6月下旬には、英国の国民投票においてE U (欧州連合) 離脱派が勝利したことから大幅に下落しましたが、その後は、各国の中央銀行が対策を講じるとの見方が広がったことなどを受けて反発し、7月中旬にかけて上昇しました。8月から第39期末にかけては方向感のない推移となりました。

### ○為替相場

選定通貨 (※) は対円でおおむね下落しました。

第34期首から2016年3月末にかけては、これまで下落していた原油価格や株価が持ち直し、資源国や新興国に対する投資家心理が改善したことを受けて、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。4月から5月にかけては、日銀の金融政策決定会合で追加緩和が見送られ、円高が進行したことなどから、選定通貨は対円で下落しました。6月には、英国のE U 離脱の是非を問う国民投票においてE U 離脱派が勝利し、市場のリスク回避姿勢が強まったことで、選定通貨は対円でもう一段下落する動きとなりました。7月半ばには、英国のE U 離脱に対するショックが収束し、市場のリスク回避姿勢が和らいだことで、選定通貨は対円で上昇しました。しかし、7月末の日銀の金融政策決定会合において市場の期待に届かない追加緩和となったことから円高が進み、選定通貨は対円で再び下落しました。当作成期間においては、インド・ルピー、トルコ・リラ、インドネシア・ルピア、チリ・ペソ、中国元、メキシコ・ペソは対円で下落しました。一方、ブラジル・レアルは対円で上昇しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

当期間においては、インド・ルピー、ブラジル・レアル、トルコ・リラ、インドネシア・ルピア、チリ・ペソ、中国元、メキシコ・ペソを選定通貨に組み入れました。

### ○短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。米国では政策金利の誘導目標レンジを0.25~0.50%で据え置きました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（GICS）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICSの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としまし

た。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行ないました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

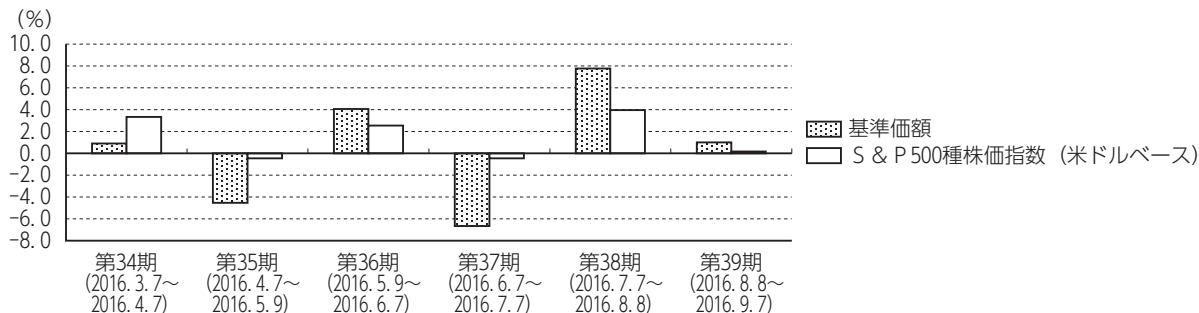
### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

第34期から第39期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ100円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期
	2016年3月8日 ～2016年4月7日	2016年4月8日 ～2016年5月9日	2016年5月10日 ～2016年6月7日	2016年6月8日 ～2016年7月7日	2016年7月8日 ～2016年8月8日	2016年8月9日 ～2016年9月7日
当期分配金（税込み）（円）	100	100	100	100	100	100
対基準価額比率（%）	1.81	1.93	1.89	2.07	1.96	1.98
当期の収益（円）	65	70	78	65	64	68
当期の収益以外（円）	34	29	21	34	35	31
翌期繰越分配対象額（円）	1,297	1,267	1,246	1,212	1,176	1,145

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期
(a) 経費控除後の配当等収益	65.53円	70.64円	78.48円	65.84円	64.08円	68.45円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	895.13	896.85	898.66	902.31	904.32	906.46
(d) 分配準備積立金	436.42	400.25	369.10	344.27	308.23	270.27
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,397.09	1,367.75	1,346.25	1,312.44	1,276.65	1,245.18
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,297.09	1,267.75	1,246.25	1,212.44	1,176.65	1,145.18

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ○クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いません。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJ Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第34期～第39期		項 目 の 概 要
	(2016. 3. 8～2016. 9. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	35円	0.666%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は5,228円です。</b>
（投信会社）	(11)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(23)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	35	0.669	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2016年3月8日から2016年9月7日まで)

決算期	第34期～第39期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 737.838	千円 35,082	千口 2,683.204	千円 128,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2016年3月8日から2016年9月7日まで)

銘柄	第34期			第39期		
	買付			売付		
	□数	金額	平均単価	□数	金額	平均単価
CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 83.237	千円 4,000	円 48	千口 2,683.204	千円 128,000	円 47

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間(第34期～第39期)中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間(第34期～第39期)中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年3月8日から2016年9月7日まで)

区分	第34期～第39期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 196,575	百万円 21,600	% 11.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	4,294,200	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

# ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

## ■組入資産明細表

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 39 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	6,167.106	287,245	98.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2016年9月7日現在

項 目	第 39 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	287,245	96.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	9,786	3.3
投資信託財産総額	297,131	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

### (2) 親投資信託残高

種 類	第 39 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	98	100

(注) 単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年4月7日)、(2016年5月9日)、(2016年6月7日)、(2016年7月7日)、(2016年8月8日)、(2016年9月7日) 現在

項 目	第34期末	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末
<b>(A) 資産</b>	<b>405,741,195円</b>	<b>365,850,324円</b>	<b>372,665,184円</b>	<b>328,828,358円</b>	<b>339,070,578円</b>	<b>297,131,937円</b>
コール・ローン等	12,207,965	13,602,863	11,488,171	10,277,815	10,984,207	9,786,502
投資信託受益証券 (評価額)	393,433,113	352,147,344	361,076,905	318,450,435	327,986,273	287,245,337
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	100,117	100,117	100,108	100,108	100,098	100,098
<b>(B) 負債</b>	<b>8,319,050</b>	<b>7,525,771</b>	<b>7,438,593</b>	<b>8,052,831</b>	<b>7,039,096</b>	<b>6,726,619</b>
未払収益分配金	7,327,697	7,055,893	7,044,710	6,769,406	6,631,153	5,858,454
未払解約金	527,519	—	—	894,016	—	500,000
未払信託報酬	461,029	464,240	385,900	379,131	395,263	353,334
その他未払費用	2,805	5,638	7,983	10,278	12,680	14,831
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>397,422,145</b>	<b>358,324,553</b>	<b>365,226,591</b>	<b>320,775,527</b>	<b>332,031,482</b>	<b>290,405,318</b>
元本	732,769,774	705,589,312	704,471,033	676,940,644	663,115,322	585,845,405
次期繰越損益金	△ 335,347,629	△ 347,264,759	△ 339,244,442	△ 356,165,117	△ 331,083,840	△ 295,440,087
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>732,769,774□</b>	<b>705,589,312□</b>	<b>704,471,033□</b>	<b>676,940,644□</b>	<b>663,115,322□</b>	<b>585,845,405□</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	5,424円	5,078円	5,184円	4,739円	5,007円	4,957円

\* 第33期末における元本額は744,007,110円、当作成期間 (第34期～第39期) 中における追加設定元本額は28,828,967円、同解約元本額は186,990,672円です。

\* 第39期末の計算口数当りの純資産額は4,957円です。

\* 第39期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は295,440,087円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第34期 自 2016年 3月 8日 至 2016年 4月 7日 第36期 自 2016年 5月10日 至 2016年 6月 7日 第38期 自 2016年 7月 8日 至 2016年 8月 8日  
 第35期 自 2016年 4月 8日 至 2016年 5月 9日 第37期 自 2016年 6月 8日 至 2016年 7月 7日 第39期 自 2016年 8月 9日 至 2016年 9月 7日

項 目	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期
(A) 配当等収益	5,266,279円	5,452,024円	5,677,167円	4,838,845円	4,319,176円	4,365,906円
受取配当金	5,266,279	5,452,346	5,677,302	4,839,107	4,319,360	4,366,271
支払利息	—	△ 322	△ 135	△ 262	△ 184	△ 365
(B) 有価証券売買損益	△ 1,261,648	△ 22,285,094	9,219,107	△ 27,825,141	20,457,573	△ 1,091,786
売買益	285,966	700,597	9,238,603	764,488	21,108,381	347,648
売買損	△ 1,547,614	△ 22,985,691	△ 19,496	△ 28,589,629	△ 650,808	△ 1,439,434
(C) 信託報酬等	△ 463,834	△ 467,073	△ 388,245	△ 381,437	△ 397,665	△ 355,485
(D) 当期損益金 (A + B + C)	3,540,797	△ 17,300,143	14,508,029	△ 23,367,733	24,379,084	2,918,635
(E) 前期繰越損益金	△ 255,024,090	△ 248,148,192	△ 270,751,259	△ 250,589,938	△ 273,320,228	△ 224,087,265
(F) 追加信託差損益金	△ 76,536,639	△ 74,760,531	△ 75,956,502	△ 75,438,040	△ 75,511,543	△ 68,413,003
(配当等相当額)	( 65,592,439)	( 63,280,840)	( 63,308,494)	( 61,081,666)	( 59,967,390)	( 53,104,668)
(売買損益相当額)	(△ 142,129,078)	(△ 138,041,371)	(△ 139,264,996)	(△ 136,519,706)	(△ 135,478,933)	(△ 121,517,671)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 328,019,932	△ 340,208,866	△ 332,199,732	△ 349,395,711	△ 324,452,687	△ 289,581,633
(H) 収益分配金	△ 7,327,697	△ 7,055,893	△ 7,044,710	△ 6,769,406	△ 6,631,153	△ 5,858,454
次期繰越損益金 (G + H)	△ 335,347,629	△ 347,264,759	△ 339,244,442	△ 356,165,117	△ 331,083,840	△ 295,440,087
追加信託差損益金	△ 76,536,639	△ 74,760,531	△ 75,956,502	△ 75,438,040	△ 75,511,543	△ 68,413,003
(配当等相当額)	( 65,592,439)	( 63,280,840)	( 63,308,494)	( 61,081,666)	( 59,967,390)	( 53,104,668)
(売買損益相当額)	(△ 142,129,078)	(△ 138,041,371)	(△ 139,264,996)	(△ 136,519,706)	(△ 135,478,933)	(△ 121,517,671)
分配準備積立金	29,454,873	26,170,415	24,486,561	20,993,610	18,058,410	13,985,683
繰越損益金	△ 288,265,863	△ 298,674,643	△ 287,774,501	△ 301,720,687	△ 273,630,707	△ 241,012,767

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,802,445円	4,984,951円	5,529,207円	4,457,408円	4,249,861円	4,010,420円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	65,592,439	63,280,840	63,308,494	61,081,666	59,967,390	53,104,668
(d) 分配準備積立金	31,980,125	28,241,357	26,002,064	23,305,608	20,439,702	15,833,717
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	102,375,009	96,507,148	94,839,765	88,844,682	84,656,953	72,948,805
(f) 分配金	7,327,697	7,055,893	7,044,710	6,769,406	6,631,153	5,858,454
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	95,047,312	89,451,255	87,795,055	82,075,276	78,025,800	67,090,351
(h) 受益権総口数	732,769,774口	705,589,312口	704,471,033口	676,940,644口	663,115,322口	585,845,405口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期
	100円	100円	100円	100円	100円	100円
(単 価)	(5, 424円)	(5, 078円)	(5, 184円)	(4, 739円)	(5, 007円)	(4, 957円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。) を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド  
日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／  
米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－）はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2016年9月7日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表  
2016年2月29日

<b>資産</b>	
投資資産、公正価値（取得原価139,134,105,321円）	¥ 141,040,857,819
現金および現金等価物	262,356,622
スワップ契約による評価益	516,532
スワップ契約終了による未収金	4,631,679,108
その他資産	1,345,512
<b>資産合計</b>	<u>145,936,755,593</u>
<b>負債</b>	
スワップ契約による評価損	1,297,502,204
未払：	
購入済みの投資資産	175,569,185
管理会社報酬	13,981,599
投資運用会社報酬	12,386,445
専門家報酬	9,325,585
設立費用	6,496,199
名義書き換え代理報酬	2,675,884
受託会社報酬	201,774
通貨投資アドバイザー報酬	162,677
<b>負債合計</b>	<u>1,518,301,552</u>
<b>純資産</b>	<u>¥ 144,418,454,041</u>
豪ドル・クラス	¥ 8,216,726,857
ブラジル・リアル・クラス	119,290,697,276
日本円・クラス	1,783,598,434
通貨セレクト・クラス	395,680,607
米ドル・クラス	14,731,750,867
	<u>¥ 144,418,454,041</u>

発行済み受益証券数

豪ドル・クラス	94,495,778
ブラジル・リアル・クラス	2,470,166,397
日本円・クラス	21,377,935
通貨セレクト・クラス	8,462,491
米ドル・クラス	116,239,124

1口当りの純資産

豪ドル・クラス	¥	86.95
ブラジル・リアル・クラス	¥	48.29
日本円・クラス	¥	83.43
通貨セレクト・クラス	¥	46.76
米ドル・クラス	¥	126.74

損益計算書

2016年2月29日に終了した年度

投資収益

その他収益	¥	365,357
<b>投資収益合計</b>		<b>365,357</b>

費用

投資運用会社報酬	239,046,295
管理会社報酬	112,154,484
名義書き換え代理報酬	24,199,661
専門家報酬	10,118,760
受託会社報酬	1,701,059
通貨投資アドバイザー報酬	927,589
登録費用	329,674
その他費用	3,518,028
<b>費用合計</b>	<b>391,995,550</b>

<b>純投資損失</b>	<b>(391,630,193)</b>
--------------	----------------------

実現益（実現損）と評価益（評価損）：

実現損の内訳：

有価証券への投資	(38,170,676,519)
スワップ契約	(51,526,230,558)
外国為替取引および為替先渡契約	(735,519,661)
<b>純実現損</b>	<b>(90,432,426,738)</b>

評価益（評価損）の純変動の内訳：

有価証券への投資	(1,223,710,336)
スワップ契約	(2,255,280,049)
外国為替換算および為替先渡契約	3,610,203
<b>評価損の純変動</b>	<b>(3,475,380,182)</b>

<b>純実現・評価損</b>	<b>(93,907,806,920)</b>
----------------	-------------------------

<b>業務活動の結果生じた純資産の純減</b>	<b>¥ (94,299,437,113)</b>
-------------------------	---------------------------



(日本円建て)

投資明細表  
2016年2月29日

ストラクチャード商品

投資資産の明細	受益証券数	純資産に 占める割合 (%)	公正価値
CROCI Buy-Write Index* - トータル・リターン・スワップ	14, 510, 314	97.66%	¥ 141, 040, 857, 819
ストラクチャード商品計 (取得原価 139, 134, 105, 321円)			141, 040, 857, 819
投資資産計 (取得原価 139, 134, 105, 321円)		97.66%	¥ 141, 040, 857, 819

\*当ファンドは Deutsche Bank A. G., London Branch に十分な資金規模を持つパフォーマンス・スワップを通して CROCI Buy-Write Index に概念的なエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合 (%)
A U D	Deutsche Bank A. G.	101, 770, 142	2016年3月31日	U S D	(73, 189, 075)	¥ (20, 042, 384)	(0.01%)

ブラジル・レアル・クラス外国為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合 (%)
B R L	Deutsche Bank A. G.	4, 234, 885, 680	2016年3月31日	U S D	(1, 066, 948, 503)	¥ (1, 273, 748, 301)	(0.88%)

日本円・クラス外国為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合 (%)
J P Y	Deutsche Bank A. G.	1, 790, 419, 694	2016年3月31日	U S D	(15, 894, 258)	¥ (2, 200, 019)	(0.00%)

通貨セレクト・クラス為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合 (%)
B R L	Deutsche Bank A. G.	2, 525, 393	2016年3月31日	U S D	(633, 974)	¥ (502, 279)	(0.00%)
I N R	Deutsche Bank A. G.	44, 164, 299	2016年3月31日	U S D	(637, 477)	429, 419	0.00%
T R Y	Deutsche Bank A. G.	1, 872, 837	2016年3月31日	U S D	(633, 973)	(651, 535)	(0.00%)
C N Y	Deutsche Bank A. G.	3, 234, 332	2016年3月31日	U S D	(493, 869)	(124, 880)	(0.00%)
I D R	Deutsche Bank A. G.	8, 108, 124, 001	2016年3月31日	U S D	(602, 450)	87, 113	0.00%
C L P	Deutsche Bank A. G.	347, 598, 719	2016年3月31日	U S D	(500, 875)	(232, 806)	(0.00%)
合計						¥ (994, 968)	(0.00%)

用語集：

A U D	豪ドル
B R L	ブラジル・レアル
I N R	インド・ルピー
J P Y	日本円
C L P	チリ・ペソ
C N Y	中国元
T R Y	トルコ・リラ
U S D	米ドル
I D R	インドネシア・ルピア

## ダイワ・マネー・マザーファンド

### <補足情報>

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプル・リターンズ）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2016年9月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を65ページに併せて掲載いたしました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

(2016年3月8日から2016年9月7日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
613 国庫短期証券 2016/9/12	27,280,379		
591 国庫短期証券 2016/5/30	24,330,973		
611 国庫短期証券 2016/9/5	19,330,584		
601 国庫短期証券 2016/7/19	19,020,392		
596 国庫短期証券 2016/6/20	14,390,312		
588 国庫短期証券 2016/5/16	12,500,147		
609 国庫短期証券 2016/8/22	10,870,238		
610 国庫短期証券 2016/8/29	10,390,257		
607 国庫短期証券 2016/8/15	9,490,188		
545 国庫短期証券 2016/7/20	9,200,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

下記は、2016年9月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（58,750,161千円）の内容です。

#### (1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2016年9月7日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちB B 格 以下組入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 32,940,000	千円 32,940,474	%	%	%	%	%
			55.0	—	—	—	55.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

#### (2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年9月7日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	593 国庫短期証券	—	千円 3,380,000	千円 3,380,045	2016/09/12	
	613 国庫短期証券	—	27,280,000	27,280,342	2016/09/12	
	558 国庫短期証券	—	30,000	30,001	2016/09/20	
	615 国庫短期証券	—	1,950,000	1,950,069	2016/09/20	
	616 国庫短期証券	—	300,000	300,015	2016/09/26	
合 計	銘 柄 数	5銘柄				
	金 額		32,940,000	32,940,474		

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第11期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第11期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行いません。 ②邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時に第二位（A－2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

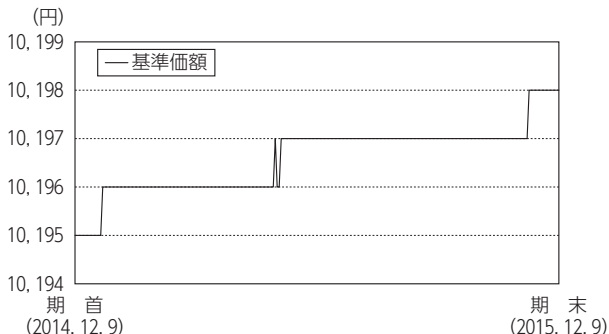
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,195円 期末：10,198円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	騰落率 %	
(期首) 2014年12月9日	10,195	—	60.0
12月末	10,196	0.0	88.5
2015年1月末	10,196	0.0	87.3
2月末	10,196	0.0	58.5
3月末	10,196	0.0	53.0
4月末	10,196	0.0	61.8
5月末	10,197	0.0	59.0
6月末	10,197	0.0	53.3
7月末	10,197	0.0	62.8
8月末	10,197	0.0	70.5
9月末	10,197	0.0	61.6
10月末	10,197	0.0	66.8
11月末	10,198	0.0	52.5
(期末) 2015年12月9日	10,198	0.0	55.2

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめぐって安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国	国債証券	千円 120,653,910	千円 ( 92,494,000)
国内	国債証券		

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

当		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
550 国庫短期証券 2015/11/9	8,509,995		
548 国庫短期証券 2015/11/2	7,399,995		
559 国庫短期証券 2015/12/21	7,049,991		
563 国庫短期証券 2016/1/18	6,099,995		
555 国庫短期証券 2015/12/7	5,499,999		
557 国庫短期証券 2015/12/14	5,469,997		
568 国庫短期証券 2016/2/15	5,000,000		
567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,995		
573 国庫短期証券 2016/3/7	4,800,955		
520 国庫短期証券 2015/6/22	3,499,975		

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内(邦貨建)公社債(種類別)

作成期	当			期			末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBBB格以下組入比率	残存期間別組入比率				
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満	%	%
国債証券	43,554,000	43,559,849	55.2	—	—	—	—	—	55.2

- (注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

区 分	当			期			末	
	銘 柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日			
		%	千円	千円				
国債証券	537 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,000	2015/12/10			
	557 国庫短期証券	—	5,470,000	5,469,999	2015/12/14			
	559 国庫短期証券	—	7,050,000	7,049,997	2015/12/21			
	560 国庫短期証券	—	2,790,000	2,789,999	2015/12/28			
	563 国庫短期証券	—	6,100,000	6,099,997	2016/01/18			
	566 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,998	2016/02/01			
	567 国庫短期証券	—	5,000,000	4,999,996	2016/02/08			
	568 国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,000	2016/02/15			
	573 国庫短期証券	—	4,800,000	4,800,934	2016/03/07			
	342 2年国債	0.1000	2,094,000	2,095,675	2016/07/15			
100 5年国債	0.3000	1,250,000	1,253,250	2016/09/20				
合計	銘柄数	11銘柄						
	金額		43,554,000	43,559,849				

- (注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公社債	43,559,849	55.2		
コール・ローン等、その他	35,332,328	44.8		
投資信託財産総額	78,892,178	100.0		

- (注) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>78,892,178,168円</b>
コール・ローン等	35,330,663,234
公社債(評価額)	43,559,849,888
未収利息	1,114,825
前払費用	550,221
<b>(B) 負債</b>	<b>—</b>
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>78,892,178,168</b>
元本	77,361,886,547
次期繰越損益金	1,530,291,621
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>77,361,886,547口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	10,198円

\*期首における元本額は25,162,158,471円、当期中における追加設定元本額は125,627,714,743円、同解約元本額は73,427,986,667円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、深センA株資本金拠出用ファンド(適格機関投資家専用)1,000,294,205円、ダイワ/RIC I (R)コモディティ・ファンド8,952,508円、US債券NB戦略ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)740,564円、US債券NB戦略ファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)1,623,350円、スマート・アロケーション・Dガード161,095,201円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー 日本円・コース(毎月分配型)132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー 豪ドル・コース(毎月分配型)643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー 米ドル・コース(毎月分配型)12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンドーパラダイムシフトー49,096,623円、(適格機関投資家専用)スマート・シックス・Dガード1,919,351,400円、ブルベア・マネー・ポートフォリオIV23,032,151,009円、ブル3倍日本株ポートフォリオIV47,552,576,868円、ベア2倍日本株ポートフォリオIV2,618,628,748円、ダイワFEグローバル・バリュー株ファンド(ダイワSMA専用)13,896,435円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)日本円・コース(毎月分配型)23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)米ドル・コース(毎月分配型)2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)豪ドル・コース(毎月分配型)13,761,552円、ダイワ/UBSエマーシングCBファンド2,498,575円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド14,780,160円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ46,913,699円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスIIー金積立型ー1,972,537円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド(償還条項付き)為替ヘッジあり4,926,716円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(資産成長コース)49,082,149円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(通貨αコース)196,290,094円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド(Dガード付/部分為替ヘッジあり)140,042,061円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命ー(為替ヘッジあり)9,813,543円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命ー(為替ヘッジなし)29,440,629円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)米ドルコース13,732,222円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)日本円コース3,874,449円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)通貨αコース13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα(毎月分配型)98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ7,567,671円、DCスマート・アロケーション・Dガード3,224,448円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド(ダイワSMA専用)490,418円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)98,252円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)トルコ・リラ・コース(毎月分配型)2,554,212円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)通貨セレクト・コース(毎月分配型)1,178,976円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型)株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型)通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型)株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー通貨セレクト・コース(毎月分配型)98,174円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,198円です。

## ■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>10,433,273円</b>
受取利息	10,433,273
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 362,189</b>
売買益	43,331
売買損	△ 405,520
<b>(C) 当期損益金(A+B)</b>	<b>10,071,084</b>
<b>(D) 前期繰越損益金</b>	<b>491,354,312</b>
<b>(E) 解約差損益金</b>	<b>△ 1,446,302,032</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>2,475,168,257</b>
<b>(G) 合計(C+D+E+F)</b>	<b>1,530,291,621</b>
次期繰越損益金(G)	1,530,291,621

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。